

特別講演 1 COVID-19 最新の動向

11月27日(土) 13:20～14:00 チャンネル1

座長 木下 朋雄 和光ホームケアクリニック

SL1-1	COVID-19の最新の動向	58
	大曲 貴夫 国立国際医療研究センター 国際感染症センター	

特別講演 2 在宅医療に期待すること

11月27日(土) 14:00～15:40 チャンネル1

座長 石垣 泰則 医療法人社団 仁生堂 大村病院 院長/所属地区医師会 東京都品川区医師会
 座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座

SL2-1	在宅医療のあるべき姿：臨床検査を中心に	60
	矢富 裕 東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻病態診断医学講座 臨床病態検査医学分野	
SL2-2	老年医学における在宅医療の役割	60
	秋下 雅弘 東京大学 大学院医学系研究科 老年病学	
SL2-3	プライマリ・ケア実践の場としての在宅医療	61
	草場 鉄周 日本プライマリ・ケア連合学会理事長/医療法人北海道家庭医療学センター理事長	

市民公開講座 コロナ禍と「人間関係失調症」

11月28日(日) 15:10～16:40 チャンネル6

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座

CL1	コロナ禍と「人間関係失調症」	62
	樋口 恵子 NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長	

国際シンポジウム アジアにおける在宅医療

11月28日(日) 10:15～11:45 チャンネル1

座長 服部ゆかり 東京大学大学院医学系研究科老年病学
 座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座

IL1	韓国の在宅医療の状況と在宅医療に期待すること	63
	Seo Young Kang, M.D., Ph.D. International Healthcare Center, Asan Medical Center, Seoul, Korea	
IL2	タイにおける在宅医療	64
	Unyaporn Suthutvoravut, M.D., Ph.D. Family Medicine Department, Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Thailand	
IL3	在宅医療、台湾の経験	64
	余 尚儒 ホームクリニック都蘭 所長/社団法人台湾在宅医療学会 理事長	

シンポジウム 1 みんなでつくる地域包括ケアシステム

11月27日(土) 8:30~11:00 チャンネル1

座長 森 清 東大和ホームケアクリニック

座長 杉戸 順子 一般社団法人名古屋市医師会 はち丸在宅支援センター / 一般社団法人愛知県医療ソーシャル
ワーカー協会 意思決定支援委員会

S1-1 (基調講演)	「医療サービスにおける不確実性」に対応する地域包括ケアシステム —不確実性の軽減を目指すマネジメント (Management of Uncertainty) のすすめ—	66
	筒井 孝子 兵庫県立大学大学院 社会科学研究所	
S1-2	多職種による地域包括ケアシステム	66
	森 清 東大和ホームケアクリニック	
S1-3	いつでもどこでも同じ手がささえる街づくりをめざして	67
	中山美由紀 東大和市在宅医療・介護連携支援センターなんがい	
S1-4	地域住民と専門職をつなぐ事務職の役割 ~多職種連携を構築する事務職の活動について~	67
	小林 恵実 医療法人社団 CMC コールメディカルクリニック広島	
S1-5	地域包括ケアにおけるソーシャルワーカーの役割 ~ ACP の普及へ向けた取り組み~	68
	杉戸 順子 一般社団法人名古屋市医師会 はち丸在宅支援センター / 一般社団法人愛知県医療ソーシャル ワーカー協会 意思決定支援委員会	
S1-6	豊田市における在宅医療・介護連携事業の取り組み	68
	鈴木 重良 豊田地域医療センター / 豊田市在宅医療・福祉連携推進会議事務局	
S1-7	小平市在宅医療介護連携推進協議会の取り組み	69
	鈴木 道明 小平すずきクリニック / 小平市医師会	

シンポジウム 2 多職種で取り組む低栄養とフレイル対策

11月27日(土) 8:30~10:00 チャンネル3

座長 高田 靖 公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会

S2-1	多職種と連携しながら病院から在宅までシームレスに食支援を行った事例	70
	齋藤 貴之 ごはんがたべたい歯科クリニック	
S2-2	~ 管理栄養士が継続して介入する事の効果についての検討 ~	71
	井上 朗 東大和ホームケアクリニック 東大和認定栄養ケア・ステーション	
S2-3	ICTを活用して多職種連携で支える低栄養予防とフレイル対策	71
	高田 靖 公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会	
S2-4 (総括発言)	多職種で取り組む低栄養とフレイル対策：オーラルフレイルの視点から	72
	平野 浩彦 東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科 / 研究所	

シンポジウム 3 生きるを支えるケアの力

11月27日(土) 8:30~10:00 チャンネル4

座長 中島 朋子 東久留米白十字訪問看護ステーション

座長 野口麻衣子 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 在宅ケア看護学

S3-1	最期まで自宅で過ごした18トリソミー児への関わり ~2か所の訪問看護ステーションがそれぞれの強みを活かした連携~	74
	山口 睦 株式会社 GCI 訪問看護ステーション芍薬	
S3-2	50歳台慢性GVHD患者のエンドオブライフケア~スピリチュアルペイン~	74
	小笠原清香 医療法人社団 焔 やまと診療所	
S3-3	在宅療養移行後も化学療法を継続したい大腸がん終末期患者への意思決定支援 ~生きたいA氏の気持ちを支える~	75
	荻原 修代 株式会社 GCI 訪問看護ステーション芍薬	

S3-4(総括)	ケアのちからで生きるを支える、伴走する	75
	平原 優美 日本訪問看護財団 あすか山訪問看護ステーション	

シンポジウム4 具体的実践例から学ぶ、在宅医療を支援する体制や運営の工夫

11月27日(土) 8:30~10:00 チャンネル5

座長 餅原 弘樹 のぞみの花クリニック

S4-1	松戸市在宅医療・介護連携支援センターが取り組む在宅医療スタートアップ支援3年間の総括	76
	松澤 亮 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	
S4-2	その人らしい生活を実現するための地域のチーム作り	77
	小野寺志真 医療法人社団 焔 やまと診療所	
S4-3	短期間での在宅医療チームのビルドアップに必要な体制についての地域実践の一案	77
	守上 佳樹 よしき往診クリニック	
S4-4	在宅診療薬剤師という働き方、その可能性	78
	餅原 弘樹 のぞみの花クリニック	

シンポジウム5 がん患者の在宅療養支援に必要な知識と技術

11月27日(土) 8:30~10:00 チャンネル6

座長 新屋 洋平 中部徳洲会病院在宅・緩和ケア科

S5-1	腫瘍学と在宅ケアの統合におけるエビデンスとプラクティス	79
	平本 秀二 ピースホームケアクリニック/三菱京都病院 腫瘍内科・緩和ケア内科	
S5-2	がん終末期における看護小規模多機能型居宅介護サービスの役割を事例から考える	80
	遠藤 光史 メディケアクリニック石神井公園	
S5-3	当院における新しい在宅緩和ケアチーム活動の試み	80
	柳澤 博 医療法人焔やまと診療所	
S5-4	在宅療養のがん患者への栄養食事指導の特徴と支援方法の検討	81
	熊谷 琴美 医療法人正翔会 正翔会クリニック江南	

シンポジウム6 養育支援の可能性～虐待予防の視点から～

11月27日(土) 8:30~10:00 チャンネル7

座長 高橋 昭彦 ひばりクリニック

座長 佐藤 杏 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

S6-1	訪問看護ステーションによる地域での養育支援	82
	西海 真理 よどきり医療と介護のまちづくり株式会社 よどきりこども訪問看護ステーション	
S6-2	周産期メンタルヘルスケアを中心とした訪問看護の立場から養育支援を考える	83
	山岸由紀子 訪問看護ステーション co-co-ro 管理者 看護師・助産師	
S6-3	養育支援の可能性～虐待予防・行政保健師の視点から～	83
	西中 文子 川崎市高津区役所地域みまもり支援センター地域支援課	
S6-4	子ども虐待防止と予防における市町村の役割	84
	八木安理子 枚方市子どもの育ち見守りセンター	
S6-5	療育支援の可能性～虐待予防の視点から	84
	岩崎 京子 相談支援センターみずき	

シンポジウム7 認知症の人を支援する～本人の意向、安全、尊厳と支援のあり方

11月27日(土) 8:30～10:00 チャンネル8

座長 植竹 日奈 国立病院機構まつもと医療センター相談支援センター

S7-1	BPSDを伴う若年性認知症の在宅生活継続	85
	岩元 智子 フラワーホーム診療所	
S7-2	認知症患者を支える支援者間の意思統一に課題を残した困難事例	86
	藤本みさと 医療法人社団 焔 やまと診療所	
S7-3	歩行困難にも関わらず外出後帰宅困難となりパトカーにて救護を繰り返したパーキンソン病合併脳出血後遺症症例	86
	盛田 真樹 医療法人 社団 仁明会 齋藤病院 在宅診療部	
S7-4(総括)	本人の意向を尊重したケアを実践するには	87
	木澤 義之 神戸大学医学部緩和支援治療科	

シンポジウム8 病院から地域へスムーズな継続医療のためには

11月27日(土) 10:15～12:00 チャンネル3

座長 蘆野 吉和 庄内保健所

座長 吉田 千文 常磐大学

S8-1	病院から地域医療ネットワークへ	89
	齊藤 洋司 島根大学医学部 麻酔科学・附属病院緩和ケアセンター	
S8-2	病院と地域／在宅をつなぐICTの可能性	89
	土屋 淳郎 医療法人社団創成会土屋医院／一般社団法人全国医療介護連携ネットワーク研究会	
S8-3	病院から地域へスムーズな継続医療のためには	90
	西出 真悟 オレンジホームケアクリニック	
S8-4	スムーズな継続医療を阻害するもの、薬局、薬剤師の立場から	90
	長谷川 寛 日本調剤株式会社 在宅医療部	
S8-5	訪問看護師として在宅移行支援の中でバリアになること	91
	福田 裕子 まちのナースステーション八千代	

シンポジウム9 小児在宅医療のトピックス

11月27日(土) 10:15～12:00 チャンネル4

座長 小沢 浩 島田療育センターはちおうじ 神経小児科

座長 余谷 暢之 国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科

S9-1	新医療的ケアスコアに基づく障害福祉サービスの報酬改定と医療的ケア児支援法	92
	前田 浩利 医療法人財団はるたか会	
S9-2	在宅医療的ケア児のミキサー食注入を支えるために	93
	永江 彰子 びわこ学園医療福祉センター草津	
S9-3	地域に合わせた小児在宅のシステム作りの取り組み「医療的ケア児・者の地域での生活を支えるために～山形県における取り組み～」	93
	中村 和幸 山形大学 医学部 小児科	

シンポジウム 10 心理学と在宅医学の協働を探る

11月27日(土) 10:15～12:00 チャンネル5

座長 山口 潔 医療法人社団創福会ふくろうクリニック等々力
座長 渡辺 紡恵 医療法人社団 創福会 ふくろうクリニック等々力

- S10-1 在宅医学における高齢者領域の心理職の役割をお話しする前に……………95
浅見 大紀 フリーランス
- S10-2 高次脳機能障害の方に対する心理臨床……………95
山口加代子 中央大学文学研究科
- S10-3 緩和ケア・サイコオンコロジーの領域における心理臨床：在宅医療への応用に向けて……………96
栗原 幸江 認定 NPO 法人マギーズ東京 / がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科 心理療法士
- S10-4 訪問看護ステーションにおけるディグニティセラピーの活用……………96
無藤 清子 訪問看護ステーションしもきたざわ
- S10-5 在宅療養支援診療所における心理職の実践……………97
内山 愛子 ふくろうクリニック等々力

シンポジウム 11 地域で見いだされた困難事例を支援する医師アウトリーチ ～介護や福祉だけでは解決困難な事例対応の切り札として～

11月27日(土) 10:15～12:00 チャンネル6

座長 川越 正平 松戸市在宅医療・介護連携支援センター・あおぞら診療所
座長 菱谷 文彦 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課認知症総合戦略企画官

- S11-1 2つのアウトリーチ活動から見えてきたこと……………99
平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック 東京都地域連携型認知症患者医療センター長
- S11-2 セルフネグレクトや引きこもりが社会問題化した時代に求められる医師アウトリーチの枠組み
～医療関連困難事例に医師がコミットする意義～……………99
星野 大和 松戸市医師会
- S11-3 庁内の規範的統合を促しつつわが町の地域共生社会の黎明を告げる……………100
川島 治 医療法人社団清幸会 行田中央総合病院
- S11-4 当地区における相談支援……………100
嶋田 宗彦 君津木更津医師会在宅医療介護ケア委員会
- S11-5 相模原市における地域ケアサポート医によるアウトリーチ……………101
谷迫 章 相模原市健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課 在宅医療・介護連携支援センター
- S11-6(総括発言) 菱谷 文彦 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課認知症総合戦略企画官

シンポジウム 12 エンドオブライフ期におけるリビングウィル、ACP（人生会議）の今後を考える

11月27日(土) 10:15～12:00 チャンネル7

座長 白髭 豊 白髭内科医院
座長 満岡 聡 日本尊厳死協会 / 医療法人満岡内科クリニック

- S12-1 エンドオブライフケアの中核概念としてのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）- 人生会議の今後を考える
上で鍵となる人生の物語のピース - ……………103
西川 満則 国立長寿医療研究センター
- S12-2 ACP を実践する上で重要な「無言の圧力」という倫理的問題
- どのように「死ぬか」ではなく、どのように「生ききるか」のために - ……………103
板井孝彦 宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野

- S12-3 ACP時代のリビング・ウィルの意義 日本尊厳死協会の動向と方向性……………104
満岡 聡 日本尊厳死協会 / 医療法人満岡内科クリニック
- S12-4 厚労省ガイドラインと ACP (人生会議) の理念を考える……………104
浜渦 辰二 上智大学グリーンケア研究所

シンポジウム 13 持続可能なシステムとしての在宅医療～ IT と医療の融合～

11月27日(土) 10:15～12:00 チャンネル8

座長 高瀬 義昌 医療法人社団至高会たかせクリニック

- S13-1 シンポジウム:持続可能なシステムとしての在宅医療～ IT と医療の融合～……………105
香取 照幸 上智大学総合人間科学部教授 / 一般社団法人未来研究所臥龍代表理事
- S13-2 在宅医療に係る政策の歴史とポストコロナの展望……………106
武田 俊彦 東京海上日動火災保険株式会社・ポストン コンサルティング グループ
- S13-3 オンライン診療の経験から……………107
黒木 春郎 医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック

シンポジウム 14 災害時における在宅医療支援委員会 地域健康危機管理一保健所と在宅医療介護の連携による有事対応と平時からの備え

11月27日(土) 14:00～15:40 チャンネル3

座長 山岸 暁美 一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長 / 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

座長 長嶺由衣子 東京医科歯科大学 東京都地域医療政策学講座

- S14-1 COVID-19 第4波・第5波における兵庫県明石・神戸圏域での在宅医と保健所との連携構築について……………109
清水 政克 医療法人社団 清水メディカルクリニック
- S14-2 新型コロナ禍における保健所と在宅医療の連携……………109
濱田 昌範 あかし保健所
- S14-3 熱海市土石流災害における地域医療及び多職種協働での支援について……………110
安達 昌子 医療法人社団律昌会 さくら醫院・一般社団法人 熱海市医師会
- S14-4 令和2年7月豪雨災害における福祉の支援活動について……………110
劔 陽子 熊本県菊池保健所(前人吉保健所)
- S14-5(指定発言) 大友 宣 医療法人財団老蘇会 静明館診療所

シンポジウム 15 在宅医療において考える自殺予防の基本

11月27日(土) 14:00～15:40 チャンネル4

座長 内田 直樹 医療法人すずらん会たろうクリニック

座長 石田 匡宏 北里大学医学部精神科学

- S15-1 自殺の危険からみた自殺予防の基礎……………111
衛藤 暢明 福岡大学医学部精神医学教室
- S15-2 アルツハイマー型認知症、妄想性障害の独居高齢者の支援……………112
照屋 広基 社会福祉法人アイリス ケアプランセンター野芥 主任介護支援専門員
- S15-3 産後うつと希死念慮を抱く母の訪問看護導入時期の見直し……………112
坂下 聡美 一般社団法人 在宅看護センター北九州 訪問看護・リハビリステーション

シンポジウム 16 在宅医療インテグレーターの統合力

11月27日(土) 14:00～15:40 チャンネル5

座長 荻野美恵子 国際医療福祉大学 / 市川病院脳神経内科・神経難病センター

- S16-1 在宅医療インテグレーター養成の概略と現状、今後の展望……………114
上田まゆら 医療法人社団 青い鳥会 上田クリニック 在宅総合相談室
- S16-2 サービス提供における組織・職種間連携モデル……………114
加藤 省吾 国立成育医療研究センター 情報管理部 情報解析室 / 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科
- S16-3 緩和ケアの立場からみた複雑性とインテグレーション……………115
平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 / 同研修・研究センター長 / 同オレンジほっとクリニック東京都地域連携型認知症患者医療センター長
- S16-4 なぜ今”インテグレート”なのか?……………115
荻野美恵子 国際医療福祉大学市川病院脳神経内科・医学部医学教育統括センター

シンポジウム 17 共催企画一般社団法人日本在宅医療事務連絡会

11月27日(土) 14:00～15:40 チャンネル6

座長 石塚 秀俊 外資系コンサルタント会社 シニア・プリンシパル

座長 宮下 勉 医療法人社団 鴻鶴会 事務局長

- テーマ1 在宅医療におけるデジタル化への対応
石塚 秀俊 外資系コンサルタント会社 シニア・プリンシパル
- テーマ2 人材採用と教育
中川 誠二 ホームケアクリニック横浜港南 事務局長
- テーマ3 組織のつくり方について
水上 直人 医療法人賛永会統括マネージャー
- 講師1) 石塚 美絵 めぐみ在宅クリニック 事務局長
2) 稲生 迅人 みんなの在宅クリニック 事務局長
3) 大西 肇 医療法人社団まごころ 理事 / 四街道まごころクリニック / まごころ訪問看護ステーション 事務局長 / 医療法人社団神幸会 訪問看護ステーション凜 事務局長
4) 岡崎 理絵 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック吾妻橋 / 荒川 事務局長 / 薬剤師
5) 奥富 隆生 まりあクリニック 事務局長
6) 佐藤 修 医療法人社団 富家会 富家グループ在宅医療推進室 室長
7) 鈴木 重良 公益財団法人豊田地域医療センター
8) 春山 善広 医療法人社団悠翔会 悠翔会マネジメントグループ シニアマネージャー
9) 福田 篤史 医療法人翔誠会 ふくだ内科 事務局長
10) 堀部 秀夫 医療法人社団ゆみの CEO / (一社) 日本在宅医療事務連絡会 事務局長

共催：一般社団法人日本在宅医療事務連絡会

シンポジウム 18 薬剤師の在宅患者訪問薬剤管理指導について考える ～医療機関と薬局の連携～

11月27日(土) 14:00～15:40 チャンネル7

座長 日下部明彦 横浜市立大学 医学部医学科 総合診療医学

座長 串田 一樹 昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座

- S18-1 退院支援における病院薬剤師の役割を考える……………119
笠原 庸子 県立広島病院 薬剤科
- S18-2 在宅療養支援診療所院内薬剤師が行う地域保険薬局との協働……………119
大須賀悠子 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック

S18-3	小児在宅医療における処方設計支援 ～薬局薬剤師による成人期移行支援～	120
	川名三知代 ココカラファイン薬局砧店	
S18-4	多職種連携における問題点と課題	120
	岡 豊香 株式会社フレディ タカノ薬局鎌倉店	
S18-5	在宅医療の推進に向けて薬局間連携と医療連携の推進を	121
	串田 一樹 昭和薬科大学	

シンポジウム 19 多問題家族と在宅医療現場におけるソーシャルワーク実践

11月27日(土) 14:00～15:40 チャンネル8

座長 鶴岡 浩樹 日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科 教授/つるかめ診療所 副所長
座長 岡村 紀宏 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会 副会長

S19-1	在宅医療はソーシャルワークの一部 そう考えると見えてくること	123
	小野沢 滋 みその生活支援クリニック	
S19-2	病院における多問題家族への対応と、在宅医療との連携におけるMSWの役割	123
	梅木 秀俊 苫小牧市立病院	
S19-3	在宅療養支援診療所ソーシャルワーカーにおける多問題家族との関わりと支援	124
	小林 廣岳 医療法人社団南星会 湘南なぎさ診療所・湘南ライフタウン診療所	
S19-4	訪問診療併設の地域包括支援センターの連携とまちづくり	124
	馬見塚統子 社会医療法人財団大和会 東大和市高齢者ほっと支援センターなんがいの	

シンポジウム 20 在宅医療の今後未来を考える～これからどうする、どうなる在宅医療～

11月27日(土) 15:55～17:35 チャンネル1

座長 荘司 輝昭 立川在宅ケアクリニック
座長 泰川 恵吾 医療法人 鳥伝白川会 ドクターゴン診療所 ドクターゴン鎌倉診療所

S20-1	今後の在宅医療の在り方	126
	今村 聡 公益社団法人 日本医師会	
S20-2	東京都の在宅医療の現状と課題について	126
	西田 伸一 東京都医師会理事	
S20-3	想いを繋げ！次世代の在宅医療 Dr. ネットのSDGs	127
	出口 雅浩 出口外科眼科医院 認定NPO法人長崎在宅Dr. ネット	
S20-4	地方都市の在支病における診療体制の構築と考察 ーコミュニティホスピタルとして地域に開かれた在宅チームのつくりかたー	127
	吉田 伸 穎田病院	
S20-5	多職種で育む地域緩和ケア／一地方都市金沢での取り組み	128
	大和 太郎 やまと@ホームクリニック	

シンポジウム 21 新型コロナウイルス感染症とHospital at home ～在宅医療のもう1つの形～

11月27日(土) 15:55～17:35 チャンネル3

座長 宮本 雄気 医療法人 双樹会 よしき往診クリニック/京都府立医科大学 救急医療学教室
座長 守上 佳樹 (医) 双樹会 よしき往診クリニック

S21-1	KISA2 隊、西へ	130
	守上 佳樹 よしき往診クリニック/葛西医院	
S21-2	COVID-19 と在宅医療～行政による医療調整との連携と今後の課題	130
	山畑 佳篤 京都府立医科大学 救急・災害医療システム学/京都府新型コロナウイルス感染症入院医療コントロールセンター	

- S21-3 **新型コロナ第5波までを振り返って**…………… 131
 菊池 亮 ファストドクター株式会社
- S21-4 **入院病床の緩衝帯としての在宅医療－「在宅入院」のトライアル**…………… 131
 佐々木 淳 医療法人社団悠翔会

シンポジウム 22 在宅医療のケアとアウトカムを評価する臨床研究：ZEVIUS 研究

11月27日(土) 15:55～17:35 チャンネル4

座長 白髭 豊 白髭内科医院
 座長 次橋 幸男 公益財団法人天理よろづ相談所 法人事務局企画準備室／白川分院在宅世話どりセンター

- S22-1 **在宅患者の生活機能、サルコペニア及び生活の質に関する自己評価と要介護度との関係性：ZEVIUS 研究（第1報、第3報）**…………… 133
 次橋 幸男 公益財団法人 天理よろづ相談所病院
- S22-2 **在宅医療におけるプライマリ・ケアの質、アドバンスケアプランニングの話し合い、治療方針の選好との関係性**…………… 133
 林 伸宇 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック平和台
- S22-3 **ZEVIUS 研究の体制づくり・成果と課題：在宅医療患者のQOL・ホープも見据えて**…………… 134
 栗田 宣明 福島県立医科大学大学院医学研究科臨床疫学分野

シンポジウム 23 在宅医療 地域医師会・自治体の取組み・創意工夫

11月27日(土) 15:55～17:35 チャンネル5

座長 谷水 正人 国立病院機構四国がんセンター
 座長 大橋 英司 医療法人社団 大橋内科胃腸科

- S23-1 **地域の在宅医療発展・推進のための松山市医師会の取組み**…………… 136
 高須賀紀子 一般社団法人松山市医師会 松山市在宅医療支援センター
- S23-2 **愛媛県在宅緩和ケア推進モデル事業活動報告**…………… 136
 谷水 正人 国立病院機構四国がんセンター
- S23-3 **高松市医師会と行政が中核となった高松市在宅医療介護連携推進事業の取組み**…………… 137
 秋山みさき 高松市健康福祉局長寿福祉部福祉事務所長寿福祉課

シンポジウム 24 多職種による褥瘡対策への取組み

11月27日(土) 15:55～17:35 チャンネル6

座長 蘆野 吉和 庄内保健所
 座長 塚田 邦夫 医療法人社団研医会高岡駅南クリニック院長

- S24-1 **在宅主治医は褥瘡の基本と他職種の役割を知ろう**…………… 138
 塚田 邦夫 医療法人社団研医会高岡駅南クリニック院長
- S24-2 **訪問看護師と多職種による褥瘡対策の実際**…………… 139
 清野 美砂 けやき通り訪問看護ステーション
- S24-3 **訪問栄養指導における褥瘡予防の取組み**…………… 139
 江頭 文江 地域栄養ケア PEACH 厚木
- S24-4 **褥瘡ケアを通じての「あたり前の暮らし」への視点**…………… 140
 神野 俊介 やまと@ホームクリニック

シンポジウム 25 在宅医療における臨床検査 ー臨床検査技師の実践を通してー

11月27日(土) 15:55～17:35 チャンネル7

座長 亀田 徹 自治医科大学 臨床検査医学
座長 深澤 恵治 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

- S25-1 心不全在宅医療における臨床検査技師の係わり……………142
小針 幸子 ゆみのハートクリニック 検査課
- S25-2 在宅医療における臨床検査技師の役割と活躍の可能性……………142
杉原 明美 医療法人あんず会 杏クリニック
- S25-3 ポケットエコー活用法……………143
寺内 裕樹 医療法人社団七福会 ホリィマームクリニックさいたま
- S25-4 在宅医療における多職種連携に基づく point-of-care ultrasound (POCUS)……………143
亀田 徹 自治医科大学 臨床検査医学 (講師)

共催：臨床検査振興協議会

シンポジウム 26 高齢者施設における看取りと救急医療の現状と課題

11月27日(土) 15:55～17:35 チャンネル8

座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 同研修・研究センター長 同オレンジほっとクリニック東京地域連携型認知症患者医療センター長
座長 島田 千穂 佐久大学

- S26-1 施設での看取りと救急医療の現状と課題……………145
島田 千穂 佐久大学 人間福祉学部
- S26-2 介護施設の看取りと救急搬送に関する現状 全国調査の結果から……………145
安田 純子 PwC コンサルティング合同会社
- S26-3 2年間(2019～2020)の看取り調査から見えた課題 ～看取りケアの取り組み強化に向けて～……………146
征矢野文恵 社会福祉法人ジェイエー長野会
- S26-4 救急医療から見た施設在宅の課題……………146
曾我 幸弘 ドクターゴン診療所(鎌倉・宮古島)

シンポジウム 27 看取りからCPCまで拡大する在宅医の役割 在宅割検事業「おだやかな看取りを明日に活かすみち」の新展開

11月28日(日) 8:20～10:00 チャンネル2

座長 内原 俊記 新渡戸記念中野総合病院脳神経内科
座長 融 衆太 新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科

- S27-1 在宅死亡患者の剖検ー医師として、家族として……………148
今村 昌幹 めちぐすい診療所 沖縄県立八重山病院 内科
- S27-2 遷延する意識障害の見られた肝硬変患者のエンドオブライフ・ケア
～在宅病理解剖とCPCの視点より検討～……………148
中島美知子 医療法人社団中島医院ホスピティウム聖十字会中島医院
- S27-3 肝硬変の末期に意識障害の増悪がみられた在宅割検の一例……………149
石田 尚子 昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門
- S27-4 在宅からの病理解剖例のCPCで在宅医自身が臨床提示する意義……………149
内原 俊記 新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科

シンポジウム 28 思いを持った新しい仲間とつながる方法～出会いから教育まで～

11月28日(日) 8:20～10:00 チャンネル3

座長 洪 英在 医療法人康誠会 東員病院 総合診療科
座長 江口幸士郎 今立内科クリニック

S28-1	在宅医療を支える組織づくりと仲間づくり……………	151
	山口 高秀 医療法人おひさま会 おひさま在宅クリニック	
S28-2	在宅支援診療所を支える仲間達の育成 ～地域を支えるクリニックを目指して～……………	151
	内田 貞輔 静岡ホームクリニック	
S28-3	つるカフェ 10年間の振り返り～出会いから教育まで……………	152
	鶴岡 優子 つるかめ診療所 / 日本社会事業大学	
S28-4(自由討論)	日下部明彦 公立大学法人 横浜市立大学	

シンポジウム 29 救急医学会との合同企画 高齢者救急医療の問題点 (各部門からの本音が聞きたい)

11月28日(日) 8:20～10:00 チャンネル4

座長 曾我 幸弘 ドクターゴン診療所 (鎌倉・宮古島)
座長 真弓 俊彦 産業医科大学医学部 救急医学講座

S29-1	高齢者救急集中治療の予後から見たフレイルの重要性……………	154
	稲葉 基高 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救命救急災害医学講座	
S29-2	睡眠薬処方再考:ベンゾ・非ベンゾからの脱却を目指して……………	154
	金子 直之 深谷赤十字病院 外傷・救命救急センター	
S29-3	内科開業医がかかえる高齢者救急医療のジレンマ……………	155
	谷田貝茂雄 やたがいクリニック	
S29-4	高齢者の救急医療体制の現状と今後の課題～高齢者施設併設における当院の状況と展望～……………	155
	山中 一輝 山中ジェネラルクリニック	

シンポジウム 30 薬剤師のコアコンピテンシー WG 在宅療養患者へ訪問する薬剤師のコンピテンシーとは

11月28日(日) 8:20～10:00 チャンネル5

座長 井手口直子 帝京平成大学薬学部

S30-1	在宅療養患者を訪問する薬剤師のコンピテンシーとは……………	156
	井手口直子 帝京平成大学薬学部	
S30-2	患者からみた薬剤師のコンピテンシー……………	157
	菊地 真実 帝京平成大学薬学部	
S30-3	多職種からみた薬剤師のコンピテンシー……………	157
	小林 輝信 合同会社 Sparkle Relation フォーライフ薬局	
S30-4	在宅療養患者へ訪問する薬剤師のコンピテンシーとは ～これからの地域医療を担う薬剤師への期待～……………	158
	小原 道子 帝京平成大学薬学部	

シンポジウム 31 病院から地域へ継続医療を疾患別に考える

11月28日(日) 8:20～10:00 チャンネル6

座長 志真 泰夫 公益財団法人筑波メディカルセンター
座長 宇都宮宏子 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス

S31-1	がん末期患者さんを病院から自宅に帰すためには……………	160
	吉澤 明孝 要町ホームケアクリニック	

S31-2	心不全の在宅医療	160
	田中 宏和 ゆみのハートクリニック	
S31-3	「食べられるお口」をチームで継続して支援	161
	高田 靖 公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会	
S31-4	認知症でも住み慣れた地域で最後まで生活させるために	161
	岡田 孝弘 オカダ外科医院	
S31-5	訪問看護の立場で、在宅から移行期支援	162
	中島 朋子 東久留米白十字訪問看護ステーション	
S31-6	訪問看護ステーション移行期サテライトの取り組み	162
	北原奈緒美 JA 長野厚生連佐久総合病院 看護部 地域ケア科 佐久総合病院訪問看護ステーション	

シンポジウム 32 在宅医療における特定保険医療材料等の供給

11月28日(日) 8:20～10:00 チャンネル7

座長 遠矢純一郎 医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック
座長 串田 一樹 昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座

S32-1	特定保険医療材料と訪問看護の現状と課題	163
	佐藤 直子 東京ひかりナースステーション	
S32-2	在宅医療における特定保険医療材料の供給に関する課題 在宅療養支援診療所の立場から	164
	岡崎 理絵 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック吾妻橋	
S32-3	特定保険医療材料の扱いに関する当院の現状と課題	164
	大須賀悠子 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック	
S32-4	特定保健医療材料・衛生材料等の供給の課題について～保険薬局の立場より～	165
	坂本 岳志 あげぼの薬局メディカル店 在宅支援室	

シンポジウム 33 日本プライマリ・ケア連合学会共催シンポジウム 「患者中心の医療の方法」と在宅医療

11月28日(日) 8:20～10:00 チャンネル8

座長 草場 鉄周 医療法人北海道家庭医療学センター
座長 川越 正平 松戸市在宅医療・介護連携支援センター・あおぞら診療所

S33-1	患者中心の医療の方法の成り立ちと概要、エビデンス	167
	藤谷 直明 社会医療法人関東会 よつばファミリークリニック / 大分大学医学部総合診療・総合内科学講座	
S33-2	健康、疾患、病気の経験を探る～患者中心の医療の方法 第1の構成要素～	167
	小林 直子 富山市まちなか診療所	
S33-3	全人的な理解を、ケアの方針に活かす	168
	豊田 喜弘 喜多方市地域・家庭医療センター	
S33-4	共通の理解基盤を見だし、患者-医師関係を強化する～患者中心の医療の方法の目指すもの～	168
	山田 康介 北海道家庭医療学センター(更別村国民健康保険診療所)	

シンポジウム 34 経管栄養コネクタ WG 経腸栄養コネクタ移行における在宅経腸栄養者の課題解決と発展に向けて

11月28日(日) 10:15～11:45 チャンネル2

座長 石垣 泰則 医療法人社団仁生堂大村病院 院長
座長 望月 弘彦 相模女子大学 栄養科学部 管理栄養学科

S34-1	医ケア児者の豊かな生活を支える経腸コネクタ	170
	浅野 一恵 重症心身障害児者施設つばさ静岡	

- S34-2 胃瘻からの半固形化法への危機迫る！！……………170
合田 文則 千里リハビリテーション病院 副院長
- S34-3 重症心身障がい児・者を養育するケアラーの権利からみた経腸栄養コネクタ問題……………171
松澤 明美 茨城キリスト教大学看護学部看護学科 / 一般社団法人 ケアラー連盟
- S34-4 経管栄養チューブによる薬物投与において錠剤粉砕等の剤形変更がもたらす問題……………171
中川 雅生 医療法人啓信会 京都きづ川病院
- S34-5 もっとユーザーフレンドリーな、もっとやさしい胃瘻を目指して 胃瘻バルーンカテーテル I の開発……………172
井上 高志 富士システムズ株式会社 営業企画部
- S34-6 在宅経腸栄養者に対する新コネクタ変更の課題と対処……………172
丸山 道生 田無病院 外科

シンポジウム 35 神経難病における患者 - 医療者関係を見直す～「快の保障」私たちの覚悟～

11月28日(日) 10:15～11:45 チャンネル3

座長 中山 優季 公財) 東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター難病ケア看護ユニット
座長 中島 隆信 慶應義塾大学商学部

- S35-1 ALS の情動制止困難と向き合う—関係性構築の現状と課題—……………174
岡部 宏生 【当事者】特定非営利活動法人(NPO 法人) 境を越えて / 一般社団法人日本難病・疾病団体協議会 (JPA) / DPI 日本会議 / 一般社団法人日本 ALS 協会 / 訪問介護事業所 AL サポート生成
- S35-2 「快を保障する」ケア～関係性の構築から考える～……………174
温盛由紀子 【看護師(訪問)】社会医療法人 河北医療財団 あい訪問看護ステーション平尾
- S35-3 プレない患者の思いにより生まれたもの……………175
岡田 尚子 虎の門病院 患者支援部 総合相談センター
- S35-4 今すぐ「状況」を変えて、快を保障しましょう……………175
河原 仁志 【医師(在宅医)】りべるたすクリニック

シンポジウム 36 在宅医療を支援する連携体制と行政との連携

11月28日(日) 10:15～11:45 チャンネル4

座長 高田 靖 公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会

- S36-1 医療介護の枠組みを超えた実効性のある多職種連携の構築とその活動について - 東大阪プロジェクト -……………176
福村 雄一 司法書士法人山西福村事務所 / 医療法人綾正会 かわベクリニック
- S36-2 在宅療養支援病院の現状と課題……………177
本田 宜久 医療法人博愛会頼田病院 総合診療科
- S36-3 在宅医療を支援する専門職種団体と行政との連携……………177
高田 靖 公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会
- S36-4 在宅医療を支援する連携体制と行政との連携……………178
田城 孝雄 放送大学大学院

シンポジウム 37 在宅医療における新型コロナウイルス感染症対策

11月28日(日) 10:15～11:45 チャンネル5

座長 英 裕雄 医療法人社団 三育会 新宿ヒロクリニック
座長 木下 朋雄 和光ホームケアクリニック

- S37-1 介護施設における新型コロナウイルスの感染状況とその対策……………180
柳楽 知義 医療法人光輪会さくらクリニック
- S37-2 要介護者の発熱時に備えた「発熱時医療介護連携対応指針(案)」の検討と試行運用の経験
～平熱等確認情報・主治医機能確認→発熱対応チェックリスト→発熱時対応フロー～……………180
住谷智恵子 あおぞら診療所 / 松戸市在宅医療・介護連携支援センター

- S37-3 鎌倉市における往診での病原体検査・クラスター発生施設への対応・自宅療養者への往診について……………181
長谷川太郎 湘南おおふなクリニック
- S37-4 ICT 連携とオンライン診療を活用した八戸でのコロナ対策……………181
小倉 和也 医療法人はちのへファミリークリニック
- S37-5 在宅医療・介護における新型コロナウイルス感染症対応：訪問看護の立場から……………182
吉江 悟 一般社団法人 Neighborhood Care/ 東京大学高齢社会総合研究機構 / 東京大学未来ビジョン研究センター / 筑波大学ヘルスサービス開発研究センター / 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室

シンポジウム 38 地域緩和ケアと在宅看取り

11月28日(日) 10:15～11:45 チャンネル6

座長 中村 明澄 医療法人社団澄乃会 向日葵クリニック

- S38-1 介入時の意思決定支援は在宅看取り率の向上につながる……………183
水野 慎大 医療法人社団 焔 やまと診療所
- S38-2 解決困難な苦しみを抱えながら、我々は穏やかに過ごすことができるのか？ レジリエントな社会を創造するために多職種で行う「援助を言葉にする」学習会について……………184
長野 宏昭 沖縄県立中部病院 呼吸器内科・地域ケア科 医長
- S38-3 緩和ケアの真髄を目指した地域医療と多職種連携のネットワークづくり「出会うことで人が動き出し、ともに未来を変える - 穏やかなエンディングを -」……………184
北村 愛美 訪問看護師テーションリール
- S38-4 「できる限りお家で過ごしたい」を地域で支えること……………185
中村 明澄 医療法人社団澄乃会 向日葵クリニック

シンポジウム 39 地域での看護実践強化のためにできること

11月28日(日) 10:15～11:45 チャンネル7

座長 大森 純子 東北大学大学院医学系研究科

- S39-1 すべてをコーディネートできる看護師の育成……………186
川邊 綾香 医療法人綾正会 かわベクリニック
- S39-2 僻地診療所における看護師の役割 - 求められることを自然体で -……………187
植木由希子 佐野市国民健康保険 飛駒診療所
- S39-3 新たな地域看護の教育を模索する……………187
針生 彩子 おうちでよかった訪問看護
- S39-4(総括) 地域での看護職による多様な看護実践：Social Community Nurses に着目して……………188
野口麻衣子 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 在宅ケア看護学

シンポジウム 40 心不全の在宅医療のポイント

11月28日(日) 10:15～11:45 チャンネル8

座長 弓野 大 医療法人社団ゆみの 理事長

- S40-1 心不全の在宅医療のポイント……………189
弓野 大 医療法人社団ゆみの 理事長
- S40-2 在宅医療で求められる心不全薬物治療……………190
志賀 剛 東京慈恵会医科大学 臨床薬理学
- S40-3 心不全の非薬物治療……………190
坂田 泰史 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学
- S40-4 心不全患者の身体所見診察：在宅医療での使い方は？……………191
阿部 幸雄 大阪市立総合医療センター

- S40-5 心不全の緩和ケア……………191
 小出 雅雄 のぞみハートクリニック / ゆみのハートクリニック
- S40-6 「最期まで心不全を診る！戦略づくりの会」がめざすものとは
 ～地域で心不全患者を支える仕組みづくりを考える～……………192
 水落紀世子 医療法人社団 焔 やまと診療所

シンポジウム 41 真のニーズに対応するこれからの在宅医療—ヘルスサービスリサーチの視点から

11月28日(日) 13:15～14:55 チャンネル1

座長 田宮菜奈子 筑波大学 医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野

- S41-1 ビッグデータ解析から見る在宅医療の現状と今後の展望……………193
 田宮菜奈子 筑波大学 医学医療系 ヘルスサービスリサーチ分野
- S41-2 ヘルスサービスリサーチの視点から医療介護政策の変遷と在宅医療の普及について……………194
 佐方 信夫 筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野
- S41-3 在宅医療の現場からの研究・発信……………194
 荒井 康之 生きいき診療所・ゆうき
- S41-4 ヘルスサービスリサーチの視点から 訪問看護ステーションの組織的パフォーマンスの可視化からこれからの訪問
 看護を考える……………195
 柏木 聖代 東京医科歯科大学 大学院 保健衛生学研究科 看護ケア技術開発学分野
- S41-5 介護サービスの質の包括的評価に向けて……………195
 阿部 計大 筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野

シンポジウム 42 自治体や実践者が支援の届きづらい方のために取り組む新たな施策から学ぶ ～老いても病んでも安心して暮らせる街を目指して～

11月28日(日) 13:15～14:55 チャンネル2

座長 川越 正平 松戸市在宅医療・介護連携支援センター・あおぞら診療所

座長 古元 重和 厚生労働省老健局老人保健課長

- S42-1 「大和市はいかい高齢者個人賠償責任保険事業」と認知症施策の今後の展望……………197
 大木 哲 大和市長
- S42-2 行政支援による在宅緩和ケア 山口県・山口市在宅緩和ケア対策推進事業について……………197
 未永 和之 すえなが内科在宅診療所
- S42-3 大阪府岸和田市の在宅緩和ケア支援助成金制度について……………198
 出水 明 医療法人出水クリニック
- S42-4 兵庫県における若年者の在宅ターミナルケア支援事業……………198
 関本 雅子 医療法人社団 理事長 関本クリニック
- S42-5(指定発言) 古元 重和 厚生労働省老健局老人保健課長

シンポジウム 43 自己決定とは何なのだろうか：意思決定を根本から考える

11月28日(日) 13:15～14:55 チャンネル3

座長 伊藤 博明 鶴巻温泉病院 在宅医療介護支援室

座長 今村 昌幹 めちぐすい診療所

- S43-1 生きのびるために私が決めておきたいこと……………200
 佐伯 晴子 一般社団法人マイインフォームド・コンセント
- S43-2 自己決定とは何か？～「命を決める」決定のあり方について……………200
 植竹 日奈 国立病院機構まつもと医療センター相談支援センター
- S43-3 「自己」決定とは何か - 「自律した自己」という幻想……………201
 板井孝壱郎 宮崎大学 医学部 生命・医療倫理学 / 宮崎大学医学部附属病院 臨床倫理部

- S43-4 患者の納得のいく自己決定のために必要な過程とそれを支えるために何ができるか……………201
申 于定 上智大学 総合人間科学部 看護学科

シンポジウム 44 褥瘡対策における病院と在宅の連携

11月28日(日) 13:15～14:55 チャンネル5

座長 蘆野 吉和 庄内保健所
座長 木下 幹雄 医療法人社団心愛会 TOWN 訪問診療所

- S44-1 大学病院に求められる在宅遠隔診療のかたち……………203
栗原 健 埼玉医科大学病院 形成外科
- S44-2 在宅医から見た褥瘡治療における病診連携……………203
木下 幹雄 医療法人社団心愛会 TOWN 訪問診療所
- S44-3 急性期病院で褥瘡管理者をする看護師が実践する在宅との連携……………204
間宮 直子 大阪府済生会吹田病院 看護部
- S44-4 在宅褥瘡ケア ～退院時の病院と在宅の連携の実状と退院後の患者を支える訪問看護師の実践～……………204
瀧井 望 公益財団法人 日本訪問看護財団立 あすか山訪問看護ステーション

シンポジウム 45 在宅医療と人文社会科学との邂逅

11月28日(日) 13:15～14:55 チャンネル6

座長 足立 大樹 医療法人コムニカ ホームケアクリニック横浜港南
座長 井口真紀子 上智大学大学院実践宗教学研究科死生学専攻博士後期課程

- S45-1 ヤングケアラー当事者は何を経験しているのか——大阪市西成区での調査から……………205
村上 靖彦 大阪大学・人間科学研究科
- S45-2 何が「家」を作るのか—モノ・道具・身体の見方から……………206
磯野 真穂 慶應大学健康マネジメント研究科
- S45-3 ナラティブ・アプローチ、もしくは構成主義的視点からみる「その人らしさ」……………206
伊藤 智樹 富山大学人文学部

シンポジウム 46 在宅医療プロフェッショナリズム～これを知らずして在宅医療は語れない

11月28日(日) 13:15～14:55 チャンネル7

座長 伊藤 大樹 医療法人あおばクリニック 院長
座長 弓野 大 医療法人社団ゆみの 理事長

- S46-1 医師のプロフェッショナリズム……………208
徳田 安春 群星沖縄臨床研修センター
- S46-2 在宅医療の基本的価値とプロフェッショナリズム ～在宅医療の先人たちに学ぶ～……………208
平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター

シンポジウム 47 診療報酬のこれからを考える～在宅医療の保険診療規則の進むべき方向性～

11月28日(日) 13:15～14:55 チャンネル8

座長 白髭 豊 白髭内科医院
座長 長尾 和宏 長尾クリニック

- S47-1 在宅医療が「地域医療構想」の未来図を描く ～医療と介護の垣根を超えたタスクシフティングを～……………210
町 亞聖 フリーアナウンサー
- S47-2 公的医療として求められる在宅医療の役割とその評価を考える……………210
佐々木 淳 医療法人社団悠翔会

- S47-3 2020年診療報酬改定の傾向と我が国の在宅医療の方向性
～新型コロナウイルス感染拡大による影響を読み解く～……………211
島田 潔 在宅医療政治連盟 / 板橋区役所前診療所
- S47-4 包括制による簡素化とオンライン診療の活用……………211
長尾 和宏 長尾クリニック

シンポジウム 48 指導医大会

11月28日(日) 15:10～16:40 チャンネル1

座長 齊藤 康洋 GPクリニック自由が丘
座長 袴田 智伸 医療法人社団 久遠会 福澤クリニック

- S48-1 医療者教育理論のレンズからみる、在宅医療の効果的指導のノウハウとは?……………213
西城 卓也 岐阜大学医学教育開発研究センター / 医療法人かがやき総合在宅医療クリニック
- S48-2 当院の在宅医療専門医育成について……………213
姜 琪鎬 医療法人 みどり訪問クリニック

シンポジウム 49 日本老年医学会合同シンポジウム 新型コロナウイルス感染症 ～在宅医療と施設における状況について～

11月28日(日) 15:10～16:40 チャンネル2

座長 三浦 久幸 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部
座長 蘆野 吉和 庄内保健所

- S49-1 老人保健施設におけるコロナウイルス対策……………215
大河内二郎 社会医療法人 若弘会 介護老人保健施設 竜間之郷 / 東京大学医学部大学院在宅医療学拠点 / 全国老人保健施設協会
- S49-2 新型コロナウイルス感染症への対応～在宅医療の現場から～……………215
石川 元直 医療法人社団焔やまと診療所 / 東京女子医科大学東医療センター内科
- S49-3 新型コロナウイルス感染症～在宅医療と施設における状況について～……………216
英 裕雄 医療法人社団 三育会 新宿ヒロクリニック
- S49-4 「新型コロナウイルスにおける地域連携～在宅医療と施設の対応は地域包括ケアシステムづくりである～」……………216
大友 宣 医療法人財団老蘇会 静明館診療所

シンポジウム 50 在宅リハビリテーションの実践

11月28日(日) 15:10～16:40 チャンネル3

座長 鈴木 修 相澤病院 訪問リハビリテーションセンター

- S50-1 訪問リハビリテーションの現状と課題……………217
古賀阿沙子 八尾はあとふる病院 リハビリテーション部
- S50-2 訪問リハビリテーションの効果を考えるー卒業に着目してー……………218
山田 愛晃 ゆみのハートクリニック
- S50-3 豊明市における地域ケア会議と多様な「軽度者への短期集中リハ」による生活再自立(リエイブルメント)連携の取り組み……………218
都築 晃 藤田医科大学地域包括ケア中核センター / 藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科
- S50-4 うつ病のある在宅末期心不全患者への理学療法士の介入効果
～常時臥床状態から庭を散歩することができるようになるまでの関わり～……………219
宮本 桃世 東大和訪問リハビリステーション

シンポジウム 51 在宅医療における ICT の展開～連携・緊急時対応・意思決定支援

11月28日(日) 15:10～16:40 チャンネル5

座長 植竹 日奈 国立病院機構まつもと医療センター

- S51-1 大阪市浪速区医療介護連携システム「A ケアカード」のその後と進化していく機能と広がり（病診連携機能&多職種連携）……………220
久保田泰弘 医療法人泰弘会 えびす診療所 大阪府浪速区医師会
- S51-2 医療介護専門職が意図して聴取し記録した時系列情報は意思決定支援に役立つ ―地域 ICT で ACP に資する情報を共有する営み自体が教育機能を持ち専門職の規範的統合を促進する―……………221
沼沢 祥行 千葉健愛会あおぞら診療所 / 松戸市在宅医療・介護連携支援センター
- S51-3 大学病院における ICT を活用した在宅患者支援の試み～神経難病患者を中心に～……………221
日根野晃代 信州大学医学部附属病院 難病診療センター
- S51-4 在宅医療チームにおける MedicalCareStation の活用事例……………222
村崎佳代子 一般社団法人池袋本町訪問看護ステーション

シンポジウム 52 多職種連携委員会 ICT ワーキンググループ企画 在宅医療における ICT 運用の課題と可能性

11月28日(日) 15:10～16:40 チャンネル7

座長 朝比奈 完 医療法人社団鴻鵠会 睦町クリニック

座長 小倉 佳浩 一般社団法人全国医療介護連携ネットワーク研究会 常務理事 株式会社メディアコンテンツ
ファクトリー 地域医療 ICT 担当

- S52-1 在宅医療における ICT 運用の課題 ～アンケートの結果を交えて～……………224
朝比奈 完 医療法人社団鴻鵠会 睦町クリニック
- S52-2 地域医療 ICT のシステム間連携の現状と、期待される方向性……………224
小倉 佳浩 一般社団法人全国医療介護連携ネットワーク研究会 常務理事 株式会社メディアコンテンツ
ファクトリー 地域医療 ICT 担当
- S52-3 在宅医療における多職種連携システム使用の課題……………225
菅原 由美 訪問ボランティアナースの会 キャンナス
- S52-4 多職種連携システム利用の実例と課題への対策……………225
土屋 淳郎 医療法人社団創成会土屋医院 / 一般社団法人全国医療介護連携ネットワーク研究会
- S52-5 在宅医療における ICT 運用の可能性～オンライン診療を交えて～……………226
山下 巖 山医療法人社団法山会下診療所自由が丘・大塚 / 一般社団法人全国医療介護連携ネットワーク研究会副会長
- S52-6 在宅医療における ICT の活用と可能性……………226
川島 史子 株式会社クラウドクリニック代表取締役 / 株式会社 PLUS F 代表取締役 / 一般社団法人全国医療介護連携ネットワーク研究会理事 / 日本医療コンシエルジュ研究所特別顧問

ワークショップ1 臨床倫理ワークショップ「模擬臨床倫理検討会を通して学ぶ」 日本在宅医療連合学会倫理・利益相反委員会プログラム

11月27日(土) 14:00～16:10 チャンネル2

座長 今村 昌幹 めちぐすい診療所

WS1-1 三浦 靖彦 東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部

WS1-2 植竹 日奈 国立病院機構まつもと医療センター相談支援センター

ワークショップ2 若手企画 研究初学者の悩みについて語ろう！

11月28日(日) 15:10～16:40 チャンネル8

座長 角 允博 梶原診療所

座長 宮本 雄気 よしき往診クリニック

WS2-1 研究初学者の悩みについて語ろう！……………229

角 允博 梶原診療所

WS2-2 研究初学者の悩みについて語ろう！……………229

宮本 雄気 医療法人 双樹会 よしき往診クリニック / 京都府立医科大学 救急医療学教室

WS2-3 浜野 淳 筑波大学附属病院総合診療科 病院教授

WS2-4 金子 惇 横浜市立大学医学院・大学院 データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻

スポンサードシンポジウム 在宅／訪問看護の質を保証する事業運営を問う ～日本財団在宅看護センターの事例から～

11月28日(日) 13:15～15:15 チャンネル4

座長 喜多 悦子 公益財団法人笹川保健財団 会長

座長 平原 優美 公益財団法人日本訪問看護財団 あすか山訪問看護ステーション 統括所長

SS1 在宅／訪問看護の質を保証する事業運営を問う～日本財団在宅看護センターの事例から～……………231

佐野けさ美 東京大学総括プロジェクト機構「QualityとHealthを基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学」総括寄付講座

駒井 和子 医療法人青葉会 訪問看護ステーションさと水口 管理者

直江 礼子 株式会社 Creade 代表取締役

大久保智代 一般社団法人在宅看護センター佳実結 代表理事

青木創治郎 一般社団法人ユニバーサルケア 代表理事

佐々木由理 公益財団法人笹川保健財団 チーフプログラムオフィサー

共催：公益財団法人笹川保健財団

ハンズオンセミナー オンライン時代のハンズオンセミナー

11月28日(日) 8:20～10:00 チャンネル1

座長 平原佐斗司 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 同研修・研究センター長 同オレンジほっとクリニック東京都地域連携型認知症患者医療センター長

HS1 在宅人工呼吸ケアのすべて～在宅人工呼吸ケアの3種の神器、ご存じですか？……………232

武知由佳子 医療法人社団 愛友会 いきいきクリニック

共催：チェスト株式会社

Web 共催セミナー 1 在宅医療を支える、富士フィルムの在宅医療支援ソリューション

11月27日(土) 12:15～13:15 チャンネル1

- LS1-1 在宅医療におけるポータブルX線撮影装置 CALNEO Xair の使用経験及び考察
～骨折の診断はどこでなされるべきか?～……………233
山本 巻一 医療法人葡萄の木 ぶどうの木クリニック 院長
- LS1-2 社会医療法人関東会における訪問画像検査に関して……………233
桑原 宏 社会医療法人関東会 佐賀関病院 医療技術部長

共催：富士フィルムメディカル株式会社

Web 共催セミナー 2 「チーム KISA 2 隊の栄光～コロナ、褥瘡、栄養障害を含めて～」

11月27日(土) 12:15～13:15 チャンネル2

座長 渡辺 克哉 医療法人社団 日翔会

- LS2-1 「チーム KISA 2 隊の栄光～コロナ、褥瘡、栄養障害を含めて～」……………234
守上 佳樹 医療法人双樹会 よしき往診クリニック

共催：アボットジャパン合同会社

Web 共催セミナー 3 便秘にもやってみよう多職種連携！～満足度の高い排便管理を目指して～

11月27日(土) 12:15～13:15 チャンネル3

座長 山中 崇 東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座

- LS3-1 便秘にもやってみよう多職種連携！～満足度の高い排便管理を目指して～……………235
木村 貴純 医療法人桑樹会 木村内科・胃腸内科

共催：ヴィアトリス製薬株式会社

Web 共催セミナー 4 ACP とは医療と介護が力を合わせて日々現在進行形で行う営みである ～"地域バーチャル病院"のプラットフォームの役割を果たすバイタルリンク～

11月27日(土) 12:15～13:15 チャンネル4

座長 中村 文隆 帝京大学ちば総合医療センター 第三内科

- LS4-1 ACP とは医療と介護が力を合わせて日々現在進行形で行う営みである
～"地域バーチャル病院"のプラットフォームの役割を果たすバイタルリンク～……………236
川越 正平 松戸市在宅医療・介護連携支援センター

共催：帝人ファーマ株式会社

Web 共催セミナー 5 人と、地域と、自然と、ICT とつながり患者を支える ココロまち診療所の多職種連携事例

11月27日(土) 12:15～13:15 チャンネル5

- LS5-1 人と、地域と、自然と、ICT とつながり患者を支えるココロまち診療所の多職種連携事例……………237
片岡 侑史 ココロまち診療所 院長

共催：株式会社カナミックネットワーク

Web 共催セミナー 6 在宅ケアにおける漢方薬の役割～在宅緩和ケアを中心に～

11月27日(土) 12:15～13:15 チャンネル6

座長 高橋 慶一 東京都保健医療公社大久保病院副院長

LS6-1 在宅ケアにおける漢方薬の役割～在宅緩和ケアを中心に～……………238
吉澤 明孝 要町ホームケアクリニック・要町病院

共催：株式会社ツムラ

Web 共催セミナー 7 要介護高齢者における薬物療法の見直しの実践

11月27日(土) 12:15～13:15 チャンネル7

座長 辻 彼南雄 医療法人社団互酬会 理事長・水道橋東口クリニック 院長 / 一般社団法人ライフケアシステム 代表理事 / 東京大学医学部 非常勤講師 (老年病学 / 公衆衛生学)

LS7-1 要介護高齢者における薬物療法の見直しの実践……………239
小島 太郎 東京大学大学院医学系研究科加齢医学

共催：東和薬品株式会社

Web 共催セミナー 9 がんの痛みのマネジメント ～NSAIDs からオピオイドまで～

11月28日(日) 12:00～13:00 チャンネル1

座長 水嶋 章郎 順天堂大学大学院医学研究科緩和医療学

LS9-1 がんの痛みのマネジメント ～NSAIDs からオピオイドまで～……………240
間宮 敬子 信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和部門

共催：久光製薬株式会社

Web 共催セミナー 10 新型コロナウイルス抗原定性検査の有効活用

11月28日(日) 12:00～13:00 チャンネル2

座長 小谷 和彦 自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門

LS10-1 新型コロナウイルス抗原定性検査の有効活用……………241
村井 邦彦 宇光会村井クリニック

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

Web 共催セミナー 11 在宅医療における心疾患管理

11月28日(日) 12:00～13:00 チャンネル3

座長 秋下 雅弘 東京大学大学院医学系研究科 老年病学

LS11-1 循環器疾患・心不全の在宅医療 ―薬物療法について―……………242
山中 崇 東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座

LS11-2 超高齢者の心疾患管理～循環器医の視点から～……………243
山下 武志 公益財団法人心臓血管研究所

共催：トーアエイヨー株式会社

Web 共催セミナー 12 多職種連携 SNS バイタルリンクのベネフィット

11月28日(日) 12:00～13:00 チャンネル4

座長 富沢 道俊 とみざわ薬局大和店

LS12-1 多職種連携 SNS バイタルリンクのベネフィット	244
堀籠 淳之 株式会社 中央薬局	

共催：帝人ファーマ株式会社

Web 共催セミナー 13 在宅医療における皮膚生理の破綻と治療

11月28日(日) 12:00～13:00 チャンネル5

座長 竹崎伸一郎 医療法人社団 廣和会 浅草二天門クリニック

LS13-1 在宅医療における皮膚生理の破綻と治療	245
大井 一弥 鈴鹿医療科学大学薬学部 臨床薬理学研究室	

共催：マルホ株式会社

多職種ミニレクチャー 1

ML1 地域支援事業を知って地域を面で支えよう	246
吉江 悟 一般社団法人 Neighborhood Care / 東京大学高齢社会総合研究機構 / 東京大学未来ビジョン研究センター / 筑波大学ヘルスサービス開発研究センター / 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室	

多職種ミニレクチャー 2

ML2 全国訪問ボランティアナースの会キャンパスの近況	246
菅原 由美 全国訪問ボランティアナースの会キャンパス	

多職種ミニレクチャー 3

ML3 在宅療養支援診療所におけるソーシャルワーク	247
西出 真悟 オレンジホームケアクリニック・日本医療ソーシャルワーカー協会	

多職種ミニレクチャー 4

ML4 在宅医療ケアにおける栄養士の役割(食事の工夫)	247
田中 弥生 関東学院大学 栄養学部 管理栄養学科	

多職種ミニレクチャー 5

ML5 栄養価計算と栄養評価の基礎知識	248
川島由起子 長野県立大学 健康発達学部食健康学科	

多職種ミニレクチャー 6

ML6 在宅医療における薬局・薬剤師の役割	248
海老原 毅 横浜療育医療センター	

多職種ミニレクチャー 7

ML7 在宅療養における注射製剤と器材(PCAポンプ等)の管理	249
長谷川 寛 日本調剤株式会社 在宅医療部	

多職種ミニレクチャー 8

- ML8 在宅医療ケアにおける作業療法士の役割……………249
宇田 薫 医療法人 おもと会 統括リハビリテーション部訪問リハビリテーション科

多職種ミニレクチャー 9

- ML9 介護保険制度の現状と課題……………250
服部万里子 NPO 渋谷介護サポートセンター・主任介護支援専門員・看護師・社会福祉士

多職種ミニレクチャー 10

- ML10 聞くだけでわかる！新型コロナウイルス感染症対応 Q&A 集！……………250
宮本 雄気 医療法人 双樹会 よしき往診クリニック / 京都府立医科大学 救急医療学教室

多職種ミニレクチャー 11

- ML11 在宅医療における臨床検査の実際 ～臨床検査技師としての視点での課題と理想～……………251
宮下 勉 医療法人社団 鴻巣会

多職種ミニレクチャー 12

- ML12 地域包括ケアでの歯科の役割……………251
高田 靖 公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会

多職種ミニレクチャー 13

- ML13 訪問看護の活用の実際～診療報酬・介護報酬の内容から～……………252
高砂 裕子 南区医師会 在宅事業部 南区医師会訪問看護ステーション

多職種ミニレクチャー 14

- ML14 ひとり暮らし・身寄りのない人への支援～身元保証・医療同意・看取り etc.……………252
植竹 日奈 国立病院機構まつもと医療センター相談支援センター

多職種ミニレクチャー 15

- ML15 新型コロナウイルス感染症流行期の在宅医療における緩和ケア医の役割、緩和ケアの技術……………253
新屋 洋平 中部徳洲会病院 在宅・緩和ケア科

多職種ミニレクチャー 16

- ML16 在宅診療薬剤師が関わる患者支援……………253
餅原 弘樹 のぞみの花クリニック

多職種ミニレクチャー 17

- ML17 在宅におけるケアの研究手法……………254
野口麻衣子 東京医科歯科大学 在宅ケア看護学

多職種ミニレクチャー 18

- ML18 訪問リハビリテーションの現状と課題……………254
古田 哲朗 1. ゆみのハートクリニック 2. ゆみのハートクリニック渋谷 3. 医療法人社団ゆみの

多職種ミニレクチャー 19

- ML19 「できる限りお家で過ごしたい」を地域で支えること……………255
 中村 明澄 医療法人社団澄乃会 向日葵クリニック

多職種ミニレクチャー 20

- ML20 これだけはおさえておきたい在宅医療事務 基本のき……………255
 松本 豊正 医療法人社団ゆみの 医事部長 松本豊正

多職種ミニレクチャー 21

- ML21 「介護職と家族のための医療講座」……………256
 和田 忠志 いらはら診療所 在宅医療部

在宅医療の基本技術 1

- BP1 胃瘻 (PEG) 管理のコツ……………257
 小川 滋彦 小川医院

在宅医療の基本技術 2

- BP2 気管切開管理のコツ……………257
 杉本 由佳 すぎもと在宅医療クリニック

在宅医療の基本技術 3

- BP3 ストーマケアと褥瘡ケアと同時に理解する……………258
 塚田 邦夫 医療法人社団研医会高岡駅南クリニック

在宅医療の基本技術 4

- BP4 CV ポート・PICC 管理のコツ……………258
 杉本 由佳 すぎもと在宅医療クリニック

在宅医療の基本技術 5

- BP5 往診靴から在宅医療を考える ～ COVID-19 は靴を変えたか? ……259
 鶴岡 優子 つるかめ診療所

在宅医療の基本技術 6

- BP6 腹膜透析の管理 (仮)
 船木 威徳 王子北口内科クリニック

在宅医療の基本技術 7

- BP7 食支援は究極の多職種連携 ～亡くなるまで食べるためには～……………259
 永井 康徳 医療法人ゆうの森 たんぼぼクリニック 理事長

優秀演題口演発表【活動報告】

11月27日(土) 8:30～9:30

座長 小松 裕和 J A長野厚生連佐久総合病院

座長 引野 雅子 ひきのクリニック

-
- BP1-1 終末期がん患者の希望に添った食べる支援を実践するための食欲不振の背景にある要因調査と対応策260
森山 久美 社会福祉法人 聖ヨハネ会 桜町病院
- BP1-2 行政・医療機関・教育機関との連携による新任訪問看護師の育成に関する実践報告～B訪問看護師育成センター 2020年度事業活動と今後の課題～260
加納 美代子 豊田地域医療センター 地域医療研修センター
- BP1-3 在宅医療におけるICTを活用した臨床倫理相談の取り組み260
杉浦 真 安城更生病院 脳神経内科 在宅医療連携推進センター
- BP1-4 介護老人保健施設に勤務する外国人介護者への感染対策セミナーの評価260
古川 智恵 姫路大学 看護学部
- BP1-5 健康啓発授業を受講した児童生徒が考えた感染対策GOALSを用いた地域への感染対策の普及261
近藤 唯宇 千葉健愛会 あおぞら診療所

優秀演題口演発表【研究】

11月27日(土) 9:30～10:50

座長 葛谷 雅文 名古屋大学大学院医学系研究科

座長 中村 明澄 向日葵クリニック

-
- BP2-1 在宅輸血に関する東京都在宅支援診療所への実施調査とマッピングツール作成の試み262
山田 真弓 トータス往診クリニック
- BP2-2 退院後訪問指導の実施で得られた病棟看護師の退院指導のあり方262
濱野 百合子 上尾中央総合病院 看護部 入退院支援看護科
- BP2-3 AI技術を用いた医療的ケア児支援システム構築の取り組みウエアラブルデバイスとストレス計を用いた介護負担の客観的な評価ツール開発に向けた研究262
中村 知夫 国立成育医療研究センター 総合診療部 在宅診療科
- BP2-4 災害時における支援物資を用いた嚥下調整食調理の検討262
角屋 桜雪 医療法人社団ユニメディコ
- BP2-5 訪問看護のエコーに関する質問票調査263
水間 美宏 東神戸病院 内科・訪問診療
- BP2-6 ESRD (End Stage Renal Disease) の透析非導入症例に対する単施設後方視研究263
角 允博 梶原診療所
- BP2-7 首都圏の在宅に特化した診療所の特色263
白木 秀典 保健医療経営大学 保健医療経営学部

最優秀演題候補演題口演発表

11月27日(土) 10:50～12:00

座長 飯島 勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構
座長 杉本 由佳 すぎもと在宅医療クリニック

MBP1	大阪市重症心身障がい児者の医療コーディネート事業による地域かかりつけ医紹介支援—急病時少しでも受診し易い状況の整備のために	264
	和田 浩 大阪発達総合療育センター 小児科	
MBP2	高度急性期病院における摂食嚥下障害がある高齢者を対象とした退院後訪問の活動報告	264
	宇佐美 康子 名古屋第二赤十字病院 患者支援センター 地域包括ケア支援室	
MBP3	当市におけるAYA世代の終末期がん患者における在宅療養に関する後方視的調査	264
	山本 里江 国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援部	
MBP4	市内を網羅した薬剤師とケアマネジャーの連携による服薬管理の仕組み「古河モデル」構築のための研究	264
	宇田 和夫 社会福祉法人下総プリンスクラブ	
MBP5	在宅医療を受ける高齢者におけるポリファーマシーの実態と関連因子：全国レセプトデータを用いた横断研究	265
	浜田 将太 医療経済研究機構	
MBP6	在宅医療下での小児期、移行期の児者と家族における新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）流行の影響	265
	塩見 夏子 大阪発達総合療育センター	

一般演題ポスター Q&A 在宅医療の質の評価

在宅医療の質の評価：尺度開発・効果評価

11月27日(土) 17:50～18:30

座長 中島 孝 独立行政法人国立病院機構新潟病院
座長 北西 史直 トータルファミリーケア 北西医院

P1-1	在宅医療を支えるチームで取り組む業務改善！～訪問診療に持参する物品簡素化への活動～	266
	木下 加津美 豊田地域医療センター	
P1-2	公開データを用いて地域単位で在宅医療の質を評価する	266
	富岡 慎一 コールメディカルクリニック福岡	
P1-3	在宅医療導入前後の処方の変化を評価する量的研究	266
	舩本 祥一 筑波大学医学医療系	
P1-4	在宅医療の質向上への取り組み～Net Promoter Score (NPS)を用いた多施設アンケート調査を経験して～	266
	飯田 智哉 医療法人せせらぎ 札幌在宅クリニックそよ風	
P1-5	在宅看取り患者の遺族に向けた在宅医療の満足度調査：宗像医師会 FAMCARE 調査	267
	岩野 歩 コールメディカルクリニック福岡	
P1-6	薬剤師の訪問同行における処方設計事例の検討と考察	267
	能勢 悠介 医療法人双樹会よしき往診クリニック	
P1-7	患者経験価値 (PX) を用いた在宅医療の質評価	267
	岩谷 健志 長崎県上五島病院	
P1-8	豊生会在宅医療部における在宅医療患者死亡統計 ～コロナは看取りの現場に何をもたらしたか～	267
	梅村 真知子 豊生会元町総合クリニック	

P1-9	高齢者認知症におけるうつ症状と多価不飽和脂肪酸 $\omega 6 / \omega 3$ 比バランスの関連性検討	268
	野村 修三 静岡ホームクリニック	
P1-10	在宅医療 9 年間における患者の転帰及び関連要因について	268
	盛田 真樹 齋藤病院	

一般演題ポスター Q&A ケアの実践①

ケアの実践：食支援・口腔ケア

11月27日(土) 17:50～18:30

座長 五藤 朋幸 ふれあい歯科ごとう

座長 安部 能成 千葉県立保健医療大学 健康科学部リハビリテーション学科

P2-1	訪問診療専門クリニックにおける管理栄養士の役割定着に向けた取り組み	269
	長畑 雄大 つばさクリニック岡山	
P2-2	病院管理栄養士による COVID-19 患者への介入方法に関する一考察 (活動報告)	269
	大島 真理子 (公財) 東京都保健医療公社 多摩北部医療センター 栄養科	
P2-3	「食べられない」に対する薬剤介入 6 症例	269
	細谷 真人 在宅緩和ケア もみのき診療所	
P2-4	訪問栄養士の介入で栄養状態の改善に成功した心不全患者の一例	269
	中川 裕美子 京都民医連あすかい病院	
P2-5	地域包括ケア病棟から退院後の在宅ケアまでの摂食嚥下包括アセスメントとして KT バランスチャートを活用した症例	270
	齋藤 祥子 古川民主病院	
P2-6	脳血管障害で年単位経過後の気管切開患者における食支援	270
	矢島 賢司 前橋協立診療所	
P2-7	摂食嚥下障害をもつ人への在宅リハビリテーションの果たす役割ー共に食べてきた家族介護者の意味世界を探ることからー	270
	小西 恵巳 立命館大学大学院 人間科学研究科	
P2-8	在宅医療クリニック内での訪問歯科診療の実績	270
	若杉 葉子 医療法人社団悠翔会 悠翔会在宅クリニック歯科診療部	
P2-9	訪問歯科診療における強酸性水を用いた口腔ケアでの取り組み	271
	山部 彩子 医療法人社団絆渡会 仙川の杜デンタルクリニック	
P2-10	在宅でのがん看取り支援における歯科訪問診療の役割	271
	菊谷 武 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	
P2-11	要介護者の体重維持に必要な栄養を既存の推算式により推定できるのか?～栄養投与量の完全な把握が可能な寝たきり患者を対象とした後ろ向き観察研究～	271
	鈴木 里彩 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	

ケアの実践：介護予防・リハビリテーション

P2-12	2 年間の訪問理学療法にて、妻との情報共有が就労継続支援 A 型の利用へ繋がった一例	272
	長崎 正義 隠岐広域連立隠岐病院 リハビリテーション科	
P2-13	歩行支援ロボットを導入し継続的に利用した 3 名の症例報告	272
	水木 麻衣子 東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座	

P2-14	訪問看護ステーションからのリハビリテーションにおける卒業後も含めた取り組みについて	272
	杉山 洋貴 優輪訪問看護ステーション	
P2-15	腰椎圧迫骨折、脊柱管狭窄症による腰痛出現の不安によって活動量の低下した症例に対する支援	272
	長屋 祐樹 ハンディクリニック 訪問リハビリテーション	
P2-16	地域在住高齢者の生活活動満足度へのストレングスの関連	273
	實金 栄 岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科	
P2-17	作業療法士による在宅医療・介護の質向上支援～総合事業対象者へのアセスメント・支援に関する報告～	273
	中澤 千香 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	
P2-18	低身体機能患者に対する退院早期の訪問リハビリテーション介入効果	273
	米山 愛里 ゆみのハートクリニック 訪問リハビリテーション部	

一般演題ポスター Q&A ケアの実践②

ケアの実践：看取り・エンドオブライフケア

11月27日(土) 17:50～18:30

座長 茅根 義和 大森赤十字病院 訪問診療部

座長 上田 まゆら 医療法人社団 青い鳥会 上田クリニック

P3-1	A 訪問看護ステーションにおける在宅看取りの実践報告	274
	熊木 綾子 独立行政法人国立病院機構新潟病院訪問看護ステーションゆきさくら	
P3-2	主治医における在宅での音楽活動（チェロ、ピアノ演奏）の取り組み～在宅での看取りにおける音楽活動の有効性も含めて～	274
	永淵 智浩 医療法人葡萄の木ぶどうの木クリニック 訪問診療部	
P3-3	自宅での看取りにむけての取り組み～看取りが近くなった患者や家族への援助～	274
	松岡恵利香 医療法人社団そよかぜ そよかぜ診療所	
P3-4	施設で質の高い看取りのケアを行えた末期がん患者の1例	274
	久野 遥加 筑波大学 医学医療系	
P3-5	コロナ禍の看取りにおける家族支援 一介護サービス未導入の事案から	275
	末次 梢 さくらライフ新丸子クリニック	
P3-6	当院訪問リハでのエンドオブライフケアの取り組み～孫娘へ結婚祝いをプレゼントできた症例を通じて～	275
	坂口 聡子 コールメディカルクリニック福岡	
P3-7	短期介入にも関わらず患者・家族とラポール構築が可能であったがん終末期在宅看取り例	275
	平本 秀二 ピースホームケアクリニック	
P3-8	顔を合わせると喧嘩する父子がディグニティセラピーにより分かり合えた1例	275
	安田 智美 国民健康保険大和診療所	
P3-9	終末期寝たきりの重症呼吸不全患者に対する訪問リハビリテーション：症状緩和と外出支援に取り組んだ症例	276
	古田 哲朗 ゆみのハートクリニック 訪問リハビリテーション部	
P3-10	在宅医療に移行するも在宅看取りに至らなかった終末期がん症例の検討	276
	佐伯 修二 ホームケアクリニック横浜港南	
P3-11	腹水穿刺 15分経過時の排液速度と血圧低下の関連	276
	柳澤 克哉 医療法人双樹会よしき往診クリニック	
P3-12	在宅患者看取りと満月・新月の関係について	276
	菅原 信行 よしき往診クリニック	

P3-13	訪問看護ステーションが関わる非がん患者における在宅看取りの実態277 谷口 智子 ゆみの訪問看護ステーション
P3-14	長崎県上五島地区における在宅看取りを希望した患者の最終的な看取り場所及びその関連要因についての検討277 岸 寛士 上五島病院 内科
P3-15	在宅支援診療所における在宅導入後の再入院の分析277 吉持 盾信 公立森町病院 森町家庭医療クリニック

一般演題ポスター Q&A ケアの実践③ ケアの実践：意思決定支援・アドバンス・ケア・プランニング

11月27日(土) 17:50～18:30

座長 堤 直也 医療法人社団青い鳥会 上田クリニック

座長 井口 真紀子 上智大学大学院 実践宗教学研究科 死生学専攻

P4-1	ものがたりと意思決定支援～ALS(筋委縮性側索硬化症)患者の「生きる」を支える実践～278 石丸 友里江 医療法人社団ナラティブホーム ものがたり居宅介護支援センター
P4-2	患者とかがりつけ診療所と一緒に考える「ACPプロセス」：活動報告278 服部 ゆかり 東京大学医学部附属病院老年病科 / 東京大学大学院医学系研究科老年病学
P4-3	日本国籍を有する外国出身の在宅がん患者が人生の最終段階において希望した帰国に対して当院が行った支援について278 杉山 賢明 医療法人社団やまと やまと在宅診療所登米
P4-4	あなたは、終末期を何処で誰と迎えますか？278 中村 愛 竹田内科クリニック
P4-5	進行が早いALS患者への意思決定支援279 白井 佳代 望星台訪問看護ステーション厚木
P4-6	依存心の強い利用者に対して行った意思決定を重視した自立支援の事例279 田澤 絵里子 医療法人財団 荻窪病院 訪問看護ステーション
P4-7	意向の異なる家族間の意思をまとめるための理論と実践279 岡山 容子 おかやま在宅クリニック
P4-8	多職種連携による低酸素脳症に伴う脳性麻痺患者とその家族の旅行支援279 山西 伴幸 オレンジホームケアクリニック
P4-9	より良いACPのためのコミュニケーションツール“ビジュアルグラフィックボード「もしもしーと」”活用の検証(第2報)280 堀場 恵子 社会福祉法人 心の会 三輪医院
P4-10	訪問診療場面の縦断的発話データを活用したACPに関する質的分析280 大塚 啓太 医療法人社団守成会広瀬病院
P4-11	有事(コロナ禍)における患者事前指示及び意思決定支援の変化について280 辻川 昭仁 辻川ホームクリニック

11月27日(土) 17:50～18:30

座長 紅谷 浩之 オレンジホームケアクリニック

座長 荒金 英樹 愛生会山科病院

P5-1	小児科経験無いけど小児在宅始めました～小児在宅医療に関わる診療同行看護師の立場から～	281
	蔵重 真里 ひのでクリニック	
P5-2	旅行に行きたいと願う終末期の子どもと家族との関わり～2泊3日の旅行に同行して～	281
	若村 舞 一般社団法人 MEPL	
P5-3	小児在宅医療における当社の取り組み	281
	藤田 龍 日本調剤株式会社 在宅医療部	
P5-4	小児 HPN 患者の腎移植後における薬剤管理	281
	木村 有希 日本調剤株式会社 在宅医療部	
P5-5	医療的ケア児を支援する医療・保健・福祉・教育の連携体制に関する研究	282
	阪上 由美 大阪信愛学院短期大学看護学科	
P5-6	小児在宅医療研修での学び	282
	西村 真子 シティ・タワー診療所	
P5-7	0～2歳児の支援を考える。家族の声は本当に届いている？	282
	片岡 愛 あい診療所	
P5-8	児童発達支援事業に通う子どもの発達についての一考察	282
	丸山 美智子 幹はうす	
P5-9	小児在宅診療における NICU 卒業生の実態と病院連携の課題	283
	水谷 亮 さいわいこどもクリニック 在宅診療部	

疾患別：がんの人の在宅医療

P5-10	在宅がん患者の看取りプロセスにおいて医師は歯科との連携をいつ、どのように提案するのか？～現状確認ツール IMADOKO を利用した医科歯科連携～	284
	大井 裕子 社会福祉法人 聖ヨハネ会桜町病院	
P5-11	『当院における在宅看取りの分析』	284
	鈴木 美幸 医療法人あい ハンディクリニック	
P5-12	終末期がん患者の病院間連携における取り組み	284
	篠 美和 医療法人社団守成会広瀬病院 在宅診療部	
P5-13	安全な在宅輸血療法への取り組み～看護師の立場より	284
	大石 恭代 磐田在宅医療クリニック	
P5-14	モルヒネ持続皮下注からナルベイン注へ変更したことで皮下硬結および痛みが改善し、最期まで地域での役割を全うできた一例	285
	児玉 麻衣子 オレンジホームケアクリニック	
P5-15	悪性血液疾患の在宅看取り	285
	志村 通子 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名メディカルプラザ 在宅診療科	
P5-16	在宅看取りを行った若年悪性腫瘍症例	285
	緑川 靖彦 呉羽総合病院外科	

P5-17	いばらき診療所みとが行ったがん（悪性腫瘍）の在宅医療	285
	西村 嘉裕 いばらき診療所みと	
P5-18	ストレングスモデルを用いて介入した在宅症例の一例	286
	清水 栄子 博愛会額田病院在宅センター	
P5-19	家族の強い拒否から医療用麻薬による疼痛コントロールができなかった症例	286
	村崎 佳代子 一般社団法人池袋本町訪問看護ステーション	
P5-20	AYA（Adolescent and Young Adult；思春期・若年成人）世代終末期がん患者の在宅療養支援事業に関する全国実態調査	286
	住谷 智恵子 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	
P5-21	癌末期患者と家族の「最期の療養場所」の選択に及ぼす影響の検討	286
	笠原 亜希子 医療法人社団久遠会 福澤クリニック	

一般演題ポスター Q&A 疾患別②

疾患別：神経難病の人の在宅医療

11月27日（土）17:50～18:30

座長 谷亀 光則 医療法人社団松和会

座長 横山 和正 順天堂大学 脳神経内科

P6-1	喉頭気管分離術を実施した多系統萎縮症 3 例の検討	287
	田口 栄一 あおい在宅クリニック	
P6-2	ALS の利用者に療養生活の希望を見出した一症例～訪問看護事業所の看護師とセラピストの複数名訪問での実践～	287
	星野 真二郎 ケアプロ株式会社 ケアプロ訪問看護ステーション東京	
P6-3	エダラボン（ラジカット）5 年以上長期投与によって進行抑制している筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者との関わりについて（スピリチュアルペインの考察）	287
	伊賀 勝康 勤医協苫小牧病院 在宅診療部	
P6-4	在宅訪問薬局における3年目薬剤師からの報告 ALS 患者で栄養剤が液剤から半固形剤へ変更となった症例を経験して	287
	三森 阜介 株式会社フレディ タカノ薬局	
P6-5	ALS 症例における気道食道分離術後患者の「食」に対する思いへの支援	288
	矢田部 浩一 けや木薬局	
P6-6	怒りをぶつけ合う夫婦が「お別れ」に時間を要したことについて	288
	船浪 紀子 河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷	
P6-7	筋萎縮性側索硬化症（ALS）の人の在宅医療の変化と、今後求められるコンピテンシーに関する考察	288
	田川 京子 東京ふれあい医療生協 梶原診療所	

疾患別：臓器不全の人の在宅医療

P6-8	CS1 を繰り返す心不全患者に対して訪問看護師が行う増悪予防に向けた支援の一考察	289
	高取 幸恵 医療法人社団ゆみの ゆみの訪問看護ステーション	

P6-9	腹膜透析を継続しながら、癌終末期在宅看取りを行った経験から感じた腹膜透析緩和ケアガイドラインの必要性	289
	戸倉 直実 東京勤労者医療会 東葛病院付属診療所	
P6-10	訪問診療における慢性腎臓病、腎性貧血の現状と対策	289
	福島 達夫 ふくしま内科医院	
P6-11	訪問診療で経験した興味深い症状を呈した腎性貧血症例	289
	福島 達夫 ふくしま内科医院	
P6-12	在宅医療の介入した慢性心不全患者の再入院の要因における検討	290
	小出 雅雄 のぞみハートクリニック	

疾患別：フレイルの人の在宅医療

P6-13	低カロリー食で長期在宅生活を継続した1例 - 訪問診療を受ける患者の食事調査を用いた考察 -	291
	甲賀 健史 茅ヶ崎徳洲会病院 在宅診療部	
P6-14	在宅患者の慢性疼痛に対して薏苡仁湯を用いた9症例	291
	恩田 俊仁 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック平和台	
P6-15	一般市民は老衰と考えられる状態となったときにどのような医療を希望するか～一般市民への老衰死に関するインターネット調査より～	291
	今永 光彦 国立病院機構東埼玉病院 内科・総合診療科	
P6-16	要介護状態回避のための農作業場所確保におけるGISを用いた検討	291
	堀池 諒 高知県健康政策部須崎福祉保健所	

疾患別：認知症の人の在宅医療

P6-17	アルツハイマー型認知症患者1例へのオンライン言語療法の報告	292
	宮阪 美穂 医療法人社団まごころ	
P6-18	ICFに基づいた軽度認知障害(MCI)の早期発見ツールの開発に向けて：疾患を有する地域高齢者を含めた検討	292
	中俣 恵美 関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科	

疾患別：精神疾患の人の在宅医療

P6-19	ひきこもり予備軍として懸念された青年期の患者との関わり～コロナ禍における訪問支援～	292
	原 涼佳 さくらライフ市川クリニック	

11月27日(土) 17:50～18:30

座長 小倉 和也 はちのへファミリークリニック

座長 堀越 由起子 東海大学 健康科学部

P7-1	在宅医療現場における往診アシスタント業務の確立293
	小嶋 友 磐田在宅医療クリニック 往診アシスタント
P7-2	学校看護師の職能確立に資するプラットフォーム構築～キャッチフレーズ「語り合える仲間になろう」を礎として～293
	友松 郁子 一般社団法人 MEPL
P7-3	医療的ケア児が通学する公立小学校の教員と学校看護師の関わりについて293
	田代 恵野 一般社団法人 MEPL
P7-4	在宅医療における臨床検査の実際と必要性の調査研究 第2報293
	宮下 勉 医療法人社団鴻鵠会 睦町クリニック

職種別：教育・人材育成

P7-5	当院からみたジェネラリストが備えておく小児在宅医療の電話相談～往診の能力の教育項目の調査294
	木村 卓二 オリーブ在宅クリニック
P7-6	「介護施設の感染対策教育システム」および「感染管理介護士」制度の構築への取り組み294
	下間 正隆 日本赤十字豊田看護大学
P7-7	介護職員教育におけるリハビリテーション専門職介入の試みについて294
	梅村 めぐみ 優輪訪問看護ステーション
P7-8	在宅医療における管理栄養士の教育と多職種連携294
	立野 慶 医療法人社団ユニメディコ
P7-9	医療事務におけるワークシェアリングと業務標準化を実践して295
	石田 剛 医療法人社団ユニメディコ キャリア開発センター
P7-10	初期研修における在宅医療研修の意義とそ確立に向けて295
	若林 眞子 日本医科大学付属病院
P7-11	在宅医療を支える職場環境の改善295
	山本 拓 豊田地域医療センター 在宅医療支援センター
P7-12	“英知を尽くして「生きる」を見る” MISSION 実現に向けたオンライン遠隔研修体制の構築 ～第一報～295
	森 あゆみ ソフィア訪問看護ステーション千種
P7-13	在宅クリニックの司令当直に医学部学生が参入して起きた変化296
	永守 駿太 横浜市立大学医学部医学科 6 年次生
P7-14	学校看護初期研修の実践報告296
	松林 美子 一般社団法人 MEPL
P7-15	訪問看護事業所職員に対する暴力の危険予知訓練～実施後郵送質問紙調査から訓練の在り方についての検討～296
	武 ユカリ 関西医科大学看護学部
P7-16	COVID-19 禍における在宅看護学実習授業の展開 ～リモートビューの試み～296
	宮崎 朋子 広島国際大学 看護学部 看護学科
P7-17	A 県の訪問看護ステーションに従事する看護職における職務満足度に関連する要因297
	河野 由美子 富山県立大学 看護学部 在宅看護学講座

P7-18	在宅医療連合学会専門医研修プログラムの集計	297
	山本 健 医療法人社団仁真会川口ホームケアクリニック	
P7-19	大学医学部生の在宅医療への興味に対する調査（第2報）	297
	金城 謙太郎 帝京大学医学部救急医学講座総合診療科、帝京大学大学院公衆衛生学研究所	

一般演題ポスター Q&A 連携①

連携：入退院支援・地域移行支援

11月27日（土）18:40～19:20

座長 雨森 正記 医療法人社団弓削メディカルクリニック
座長 小林 輝信 合同会社 Sparkle Relation フォーライフ薬局

P8-1	訪問診療専門クリニックの医療ソーシャルワーカーが訪問講座を始めてみた～在宅療養をイメージした調整を目指して～	298
	森川 恭成 つばさクリニック	
P8-2	在宅輸血における血液製剤の適切な温度管理を目的とした、血液搬送装置（ATR）貸出プロジェクト	298
	大橋 晃太 NPO 法人 血液在宅ねっと	
P8-3	「在宅療養支援窓口」を活用した退院支援について～地域包括ケアシステムの枠を超えた病院・在宅連携の取り組み～	298
	古澤 香織 西東京市在宅療養連携支援センター「にしのわ」	
P8-4	精神疾患を有する糖尿病患者の在宅移行支援～身体科と精神科のケアの統合～	298
	濱野 リカ 岡山市立市民病院 入退院管理支援センター	
P8-5	患者が他の医療機関に入退院する前後での診療所看護職の関わり	299
	花井 理紗 神戸市看護大学	

連携：ICT の活用

P8-6	ICT を用いた退院前カンファレンスの取り組み報告	300
	鈴木 隆之 がん研究会 有明病院 地域連携部	
P8-7	在宅医療における ICT を活用した多職種連携	300
	町田 隆義 医療法人社団ユニメディコ 情報管理室	
P8-8	「健康」のための ICT ～オンライン参加型デイスサービスからの学び～	300
	海渡 翔 小日向診療所	
P8-9	おたるワンチームによる多職種連携推進と在宅医療の活性化について	300
	高村 一郎 高村内科医院	
P8-10	在宅医療におけるウェアラブル機器の活用事例	301
	内田 貞輔 医療法人社団貞栄会 静岡ホームクリニック	
P8-11	杉並区における ICT（バイタルリンク）を活用した多職種連携・協働に関する取り組み	301
	山口 優美 まごころクリニック	
P8-12	コロナ禍における医療依存度の高い在宅患者の受け入れの現状と課題～東京－岡山の転居例をきっかけに ICT の活用について考える～	301
	則保 亜希子 つばさクリニック岡山	
P8-13	「研修（感染対策）」をキーワードに我が町の地域共生社会の胎動を主導する	301
	小河原 清夏 行田市在宅医療・介護連携支援センター	

P8-14	在宅医療患者の緊急時におけるビデオ通話利用の実用性について	302
	小坂 真琴 オレンジホームケアクリニック	
P8-15	施設入居者に期待されるオンライン診療に関する検証	302
	岡崎 理絵 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック吾妻橋	
P8-16	地域の薬剤師研修会におけるオンラインと実地での開催地までの距離の比較	302
	平賀 愛 医療法人双樹会 よしき往診クリニック	
P8-17	地方の特別養護老人ホームにおける ICT ツール導入は終末期ケアの改善に貢献する	302
	笠 芳紀 雲南市立病院	

連携：多職種協働や人材育成

P8-18	多職種連携による切れ目のない在宅医療や介護の提供体制について	303
	レシャードカレット 島田市医師会	
P8-19	摂食嚥下臨床における他職種連携への歯科医療従事者の参加について	303
	福野 雅人 医療法人社団ユニメディコ	
P8-20	当院の PA (physician assistant) の活動報告	303
	三ヶ島 有加 (医) コールメディカルクリニック福岡	
P8-21	教育と医療の協働をめざして～一般社団法人 MEPL (Medical Education Partnership Liaison) 活動報告～	303
	木内 昌子 一般社団法人 MEPL	
P8-22	事務職員による訪問診療同行の効果	304
	藤田 千春 医療法人 博愛会 穎田病院	

一般演題ポスター Q&A 連携②

連携：病院・施設と在宅医療の連携

11月27日(土) 18:40～19:20

座長 北澤 彰浩 JA 長野厚生連佐久総合病院

座長 矢崎 一雄 静明館診療所

P9-1	病院で立ち上げた訪問診療クリニックとの連携について考える	305
	星野 将隆 船橋総合病院	
P9-2	地域における緩和ケア病棟の役割	305
	草田 典子 一宮市立市民病院 緩和ケア科	
P9-3	入院から在宅へ 特定行為実践の活動報告～最期の時間を住み慣れた家で家族との時間を作ることができた事例を通して～	305
	佐久本 和香 医療法人社団東山会 東山訪問看護ステーション	
P9-4	訪問診療導入による特別養護老人ホームでの看取りの報告	305
	安西 宣恵 東京白十字病院 内科	
P9-5	薬剤師の往診同行の取り組み	306
	今城 宏文 アーク調剤薬局長野稲葉店	
P9-6	住み慣れた場所での自分らしい暮らしを支えるために、急性期運用の緩和ケア病棟の立ち上げ～地域包括ケアシステムにおける、緩和ケア病棟の役割を見直す～	306
	吉村 純彦 国立病院機構 姫路医療センター 緩和ケア内科	

P9-7	当薬局が参加した退院前カンファレンスの振り返り～オンライン開催の退院前カンファレンス～	306
	清水 里恵 株式会社サンテ ひまわり調剤薬局	
P9-8	在宅医療の推進と在宅療養支援診療所薬剤師の役割～地域のハブとして～	306
	串田 一樹 昭和薬科大学	
P9-9	当院における経口摂取困難者への取り組み	307
	井村 龍磨 いむらクリニック	
P9-10	医師会と連携し、大学と行政が共同運営する「豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし」が主催する医療介護連携課題検討会の活動報告	307
	池田 寛 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし	
P9-11	家族が自宅での看取りを希望した介護施設入居者への対応	307
	郡山 晴喜 ホームクリニックみまた	
P9-12	悪性脳腫瘍患者の在宅生活への支援とターミナルケアに関する一例～回復期リハビリテーション病床及び緩和ケア病床の役割も含めて～	307
	北原 孝夫 香川医療生活協同組合 高松協同病院	
P9-13	退院後に褥瘡と運動機能低下を認める認知症グループホーム在宅患者に対する訪問看護の早期導入と施設スタッフによる生活リハビリ実施	308
	岩本 修一 おうちの診療所目黒	
P9-14	緩和ケア病棟を有する病院の行う在宅緩和ケア～当院における診療実態の調査報告～	308
	上林 孝豊 京都民医連あすかい病院	
P9-15	入院スタッフと訪問リハビリテーションスタッフで行う退院後オンラインカンファレンスについて	308
	坂下 遼 医療法人真正会 霞ヶ関在宅リハビリテーションセンター	
P9-16	[指定介護老人福祉施設における医療体制と終末期ケアの実態に関する調査]	308
	千場 純 横須賀市医師会	
P9-17	在宅療養支援病院による特別養護老人ホームにおける救急搬送抑制の試み	309
	廣瀬 憲一 医療法人社団守成会 広瀬病院	
P9-18	脳卒中・循環器病対策基本法成立後の脳卒中診療の病院・病院と在宅医療の連携	309
	神澤 孝夫 訪問診療ネットワーク 医療法人社団 群雄会 伊勢崎クリニック	
P9-19	高齢者住宅連携協力医療機関の在宅医療	309
	水橋 佑介 なし	

一般演題ポスター Q&A 連携③

連携：多職種連携・協働の実際

11月27日(土) 18:40～19:20

座長 一戸 由美子 むさしの丘ファミリークリニック

座長 中山 美由紀 東大和市在宅医療・介護連携支援センターなんが

P10-1	ケアマネジャー経験者の勤務する歯科医院が、現職ケアマネジャーに対する研修会の企画・立案・開催をした経過と、その反響についての報告。	310
	松本 拓 医療法人社団絆渡会 仙川の杜デンタルクリニック	
P10-2	多職種協働の実際 研修用ドラマ『わたしの人生ファイル』制作を通して、我が街の連携を超えた統合を先導する	310
	溝上 俊亮 社会福祉法人清幸会	
P10-3	在宅訪問薬剤師に対する医療・介護従事者への満足度アンケート調査～2016年度と2019年度を比較して～	310
	宇都宮 励子 一般社団法人 大阪ファルマプラン あおば薬局	

P10-4	在宅栄養・摂食嚥下チーム“もぐまご”～3年目の活動報告第2報～	310
	尾添 美幸 医療法人まごころ まごころ訪問看護ステーション	
P10-5	コロナから生まれた新たなつながりによる医療・介護連携の推進～オンラインによる地域包括ケアの取り組み～	311
	井岡 幸子 大田区在宅医療相談窓口 田園調布地区	
P10-6	包括的支援事業（4事業）と行政で協働した区民啓発活動の一環「西淀川区®に～よん参考書」作成を通して連携を考える	311
	大中 湖月 西淀川区医師会 在宅・医療介護連携相談支援室	
P10-7	医科で開催する会議で行った歯科の事例検討会～歯科訪問診療の事例報告会から得たこと～	311
	山口 朱見 医療法人財団 千葉健愛会 あおぞら診療所	
P10-8	すまいるさくファーム～地域の多職種連携を社会的処方につなげる～	311
	長谷島 さや 佐久総合病院 総合診療科	
P10-9	「在宅床ずれ（往診）外来」を開設して：地域包括ケアを視野に、ICTを利用した実践	312
	中村 義徳 （公財）天理よろづ相談所病院白川分院 在宅世話どりセンター	
P10-10	「コロナ禍における『なごや在宅医療・介護連携ハンドブック～名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン～』普及啓発活動について」	312
	古山 明夫 一般社団法人名古屋市医師会 在宅医療・介護連携委員会	
P10-11	Web会議システム（Zoom）を用いたデスカンファレンスの有用性について	312
	齋藤 珠美 東大和ホームケアクリニック	
P10-12	地域医療従事者向けの新しいリトリートの間「ホリーズカフェ」	312
	堀尾 建太 医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック	
P10-13	身寄りのない一人暮らしの高齢がん患者の在宅看取り～患者の意向に沿い多職種で支援した一例～	313
	母谷 真由実 医療法人社団 CMC コールメディカルクリニック広島	
P10-14	患者の求める Betterlife をめざして～訪問診療看護師に期待される役割と多職種連携～	313
	水田 恵美 医療法人社団さくらライフ市川クリニック船橋ステーション	
P10-15	予後月単位の在宅療養者に発生した褥瘡のケアに、特定行為を協働した一事例	313
	一色 京子 長浜病院訪問看護ステーション	
P10-16	テレナーシングにより糖尿病コントロールが可能となった一例—YUMINO管制塔センターから—	313
	伊東 紀揮 医療法人社団ゆみの	
P10-17	認知症と共に暮らす高齢夫婦にとっての当たり前の暮らしに思いを寄せて～葛藤しながら伴走した在宅サービスの思いを振り返る～	314
	光畑 小百合 訪問看護ステーションかしわのもり	
P10-18	当クリニックの在宅医療における看取りの状況について	314
	高山 輝里 幸生会 北坂戸ファミリークリニック	
P10-19	障がい受容のきっかけになったもの～多職種連携を在宅復帰に活かす～	314
	江森 大輔 社会福祉法人清幸会 介護老人保健施設グリーンピア	
P10-20	在宅医療における「特定行為に係る研修制度を終えた看護師」の現状と今後の課題	314
	友安 弘美 小坂内科消化器科クリニック 看護師	
P10-21	新型コロナウイルス感染症流行下での訪問看護ステーションと病院・診療所との連携における課題	315
	田中 裕子 医療法人双樹会 よしき往診クリニック	
P10-22	小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護に適した圏域像と利用者像～医師会が当事者と協働し、行政に提案する基礎資料を検討する～	315
	星野 大和 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	

一般演題ポスター Q&A 制度 制度：在宅医療介護連携拠点事業・地域包括支援センターの活動

11月27日(土) 18:40～19:20

座長 田城 孝雄 放送大学 教養学部

座長 山岸 暁美 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

P11-1	福島市在宅医療・介護連携支援センター相談業務の考察【第2報】～開所2年目の結果から～	316
	田中 嘉章 福島市在宅医療・介護連携支援センター	
P11-2	地域を守るためにコロナウイルスに負けるな！！	316
	松山 亜紀子 医療法人 真正会	
P11-3	埼玉県在宅医療連携拠点協議会第2回研修会～拠点のみんな集まれ！HITOYOSEKAI「コロナ禍の今、私たちから元気になろう！」～のWeb開催活動報告と今後の展望	316
	野上 めぐみ 越谷市医療と介護の連携窓口	
P11-4	在宅医療・介護連携支援センターの意義と役割（アンケートを通して）	316
	梅野 福太郎 四街道まごころクリニック	
P11-5	医療機関ハンドブックの制作を通して、地域の「かかりつけ医」が果たしている機能を見える化する～かかりつけ医の在宅医療参入を医師会として支援する～	317
	湯浅 孝史 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	

制度：医療保険・介護保険

P11-6	介護保険料の平均寿命への影響と地域差について	318
	中島 尚登 伊勢原駅前クリニック 訪問診療部	
P11-7	石川県羽咋市の住民アンケートと健診データの結合による介護給付費に関する記述疫学的研究	318
	板谷 智也 金沢大学 医薬保健研究域	

制度：医療保険・介護保険

P11-8	コロナ禍で行った診療所の質の改善	319
	島崎 亮司 地域医療振興協会 シティタワー診療所	
P11-9	「病院発の訪問診療」普及のための在宅医療センター設立	319
	藤田 篤史 明石仁十病院	
P11-10	台湾在宅医療の発展と社会文化背景 - 台南の医学センターを事例に	319
	古関 光浩 奇美医療財団法人奇美病院内科部	
P11-11	AIを活用した看護師勤務シフト作成の有用性について	319
	加藤 真梨子 医療法人社団ユニメディコ 看護部	
P11-12	中小病院における在宅部門強化の取り組み報告	320
	光永 充士 医療法人社団東山会 調布東山病院	
P11-13	医療法人におけるコメディカルの評価制度導入の実例	320
	原田 俊夫 医療法人社団絆渡会	
P11-14	当直連携モデルの整理と事例紹介	320
	中尾 亮太 株式会社当直連携基盤	
P11-15	京都市西京区における在宅医療の認知度調査	320
	山田 寿美 医療法人双樹会よしき往診クリニック	

P11-16	訪問診療卒業までの経緯	321
	澁谷 美智子 医療法人双樹会よしき往診クリニック	
P11-17	訪問診療における診療同行スタッフの現状とその役割と意義についての調査研究	321
	高木 理江 桜新町アーバンクリニック 在宅医療部	
P11-18	大規模訪問看護ステーション経営におけるガバナンス体制に関する全国調査—管理運営体制・サービス提供体制を中心に—	321
	李 錦純 関西医科大学 看護学部	

制度：行政や医師会と在宅医療が連動する活動

P11-19	地域の医師が講師を担う介護キャリアアップ医学講座の取り組み～「自宅で過ごしたいがかなう大崎市」を目指して～	322
	鈴木 眞紀子 大崎市医師会大崎市在宅医療・介護連携支援センター	
P11-20	在宅移行・在宅生活の継続を支援する在宅医療コーディネータ養成—医師会と行政の協働で実施する—	322
	片山 陽子 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科	
P11-21	在宅医療・介護連携支援センターにおいて精神科専門サポート医が関与したアウトリーチ・相談業務の分析	322
	北田 志郎 松戸市在宅医療・介護連携支援センター	

一般演題ポスター Q&A 多問題／危機管理／啓発

多問題／危機管理：困難ケース

11月27日(土) 18:40～19:20

座長 太田 秀樹 医療法人アスミス

座長 馬見塚 統子 東大和市高齢者ほっと支援センターなんがいの

P12-1	外国にルーツを持つ人の在宅看取りを支援して見えた課題-在宅医療の現場から、多角的な視点をもった支援について考える	323
	中嶋 順子 やまお訪問看護ステーション	
P12-2	カテコラミン離脱が難しく退院困難な患者の問題点を解決することで自宅療養へシフトできた一症例	323
	疇地 拓郎 株式会社ファーコス ファーコス薬局用賀三丁目	
P12-3	高齢独居 重症妄想性障害を伴うアルツハイマー型認知症患者の在宅復帰支援と運転免許適正検査を経験して	323
	中島 徳志 医療法人溪仁会 定山溪病院	
P12-4	外来診療がメインの一人診療所が訪問診療を実践することへのハードル	323
	山上 賢治 拝島やまかみクリニック	
P12-5	自律神経失調症から、化学物質過敏症 (CS:Chemical Sensitivity) が疑われた患者に対する歯科訪問診療例について	324
	船山 高明 医療法人顕樹会 本田歯科クリニック	
P12-6	当診療所における尿路カテーテルのトラブルに対しての対策法	324
	柳町 知宏 鹿神会 大野診療所	

多問題 / 危機管理：一人暮らし高齢者・後見等

P12-7	住み慣れた街で最期まで暮らすとは？ 希望と受容の狭間で 独居男性①325 池田 幸子 荒川コミュニティカレッジ地域活動団体 植木鉢の会
P12-8	高齢独居患者の生活状態を炙り出す双方向見守りシステムのその後の経過と応用に関して325 磯崎 哲男 小磯診療所
P12-9	在宅高齢者の住環境と熱中症リスクについての検討325 石川 昌弘 さくらライフ市川クリニック
P12-10	地域包括ケアシステムの一要素のサービス付き高齢者向け住宅に関する終の棲家としての一考察325 金田 明子 横浜市立大学医学部看護学科老年看護学

多問題 / 危機管理：災害時の対応や対策

P12-11	「MEIS（医療的ケア児等医療情報共有システム）」を活用したセンター内での災害対策の取り組みについて326 高田 佳美 あいち小児保健医療総合センター 救急外来
P12-12	在宅人工呼吸器の災害時における新たな給電方法（空気発電機）の検討326 浜本 英昌 鳥伝白川会 ドクターゴン鎌倉診療所
P12-13	高知市の津波避難ビルにおける空間分布と階層別被災リスクの検討326 中井 寿雄 金沢医科大学 看護学部
P12-14	薬局薬剤師の災害対応における独居高齢者・身体障害者の地域医療連携への取り組みについて326 武山 和也 サンライトあかり薬局 新大阪店

市民参加・社会への啓発：地域や社会への啓発活動

P12-15	地域に暮らす医療的ケア児と行った『折れない心を育てるいのちの授業』からみた地域共生社会へ向けての可能性327 久保田 千代美 Chiyomi Kubota Care 研究所
P12-16	地域高齢者における介護予防のための啓発活動～ロコモティブシンドロームの理解と予防～327 吉田 和史 社会福祉法人 清幸会
P12-17	オレンジカフェ参加者の心理面へのアプローチを試みて327 小橋 翔 行田中央総合病院リハビリテーション科
P12-18	コロナ禍における小中学生を対象とした感染症に関する啓発教育の実践報告～子供たちを通して地域の人々に知識向上や行動変容をもたらす“仕掛け”～327 川越 正平 松戸市在宅医療・介護連携支援センター

一般演題ポスター Q&A

新型コロナウイルス感染症の対応

多問題 / 危機管理：新型コロナウイルス感染症の対応や対策

11月27日(土) 18:40～19:20

座長 三浦 邦久 医療法人伯鳳会 東京曳舟病院

座長 五味 一英 桜新町アーバンクリニック

P13-1	当院における高齢者介護施設に発生した COVID-19 クラスターへの対応	38
	加藤 亮 在宅医療支援診療所 医療法人 光輪会 さくらクリニック	
P13-2	コロナ禍における在宅医療機関でのテレワーク等の試み～感染拡大防止をしながら質を落とさないサービス提供～	328
	鈴木 貴子 医療法人社団さくらライフ 本部	
P13-3	当院における COVID-19 感染症に対する予防対応策（スクリーニングとゾーンニング対応）	328
	飯嶋 将史 医療法人社団和啓会 メディクスクリニック溝の口	
P13-4	機能強化型在宅療養支援病院の新型コロナウイルス感染症に対する取り組み	328
	清洲 早紀 吉祥院病院	
P13-5	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症クラスターの中で、在宅医療医の果たすべき役割（当法人内施設クラスター発生時に行った工夫について）	329
	池田 慎一郎 医療法人社団 豊生会 元町総合クリニック	
P13-6	コロナ第 4 波における中規模地域医療支援病院からの訪問診療の取り組み	329
	松島 和樹 医療法人 川崎病院 総合診療科	
P13-7	新型コロナが口腔保健センター活動に及ぼす影響	329
	高田 靖 公益社団法人東京都豊島区歯科医師会	
P13-8	千葉県東葛地区における特養でのクラスター発生時に、病院からの訪問診療で入院待機期間を対応した活動報告	329
	松宮 泉 医療法人社団聖仁会 我孫子聖仁会病院	
P13-9	中山間地域における在宅療養支援病院としての新型コロナウイルスワクチン接種への取り組み	330
	上杉 文彦 社会医療法人 仁寿会 加藤病院 診療部	
P13-10	在宅療養患者を対象としたリモート音楽療法の試み	330
	櫻井 唯乃 ホームケアクリニック横浜港南	
P13-11	COVID-19 による医療崩壊を食い止めるために、開業医が何をどう担えばよいか？	330
	武知 由佳子 医療法人社団愛友会いきいきクリニック	
P13-12	復興公営住宅在中高齢者の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛生活での自立支援方法の検討 / 横断研究	330
	奥村 圭子 認定栄養ケア・ステーション 杉浦医院 / 地域ケアステーション はらぺこスパイス	
P13-13	コロナ禍で在宅医療現場はどう変わったのか？	331
	岡田 豊 つばさクリニック	
P13-14	新型コロナウイルス感染症の拡大が在宅ケアの利用者に与えた影響—ターミナル、看取りへの影響に焦点を当てて—	331
	畑 吉節未 岐阜保健大学大学院 看護学研究科	
P13-15	新型コロナ感染症蔓延禍中の在宅医療にフェイス・シールド&マスクは有効か？	331
	福岡 篤彦 南和広域医療企業団 吉野病院 内科	
P13-16	新型コロナウイルス感染症による活動自粛が認知症の家族介護者に与える精神的影響に関する質的研究	331
	中島 園美 神戸薬科大学 臨床心理学研究室	
P13-17	高齢者のコロナの症状を調査して	332
	稲野 聖子 市立池田病院	

P13-18	職種別、事業種別の新型コロナウイルス感染症対策の不安軽減に寄与する要因の検討	332
	長嶺 由衣子 東京医科歯科大学 介護・在宅医療連携システム開発学講座	
P13-19	新型コロナウイルスワクチンの予約方法から垣間見える健康の社会的決定要因 - インターネット予約と電話予約の比較から -	332
	松本 真一 悠翔会在宅クリニック北千住	
P13-20	新型コロナウイルス蔓延下での緊急往診事例の検討	332
	中村 幸生 医療法人優幸会 中村クリニック	
P13-21	新型コロナウイルス感染症流行下における介護従事者の心理的・道徳的体験と変容に関する協働的民族誌研究 ～立ちすくむから向き合う～	333
	奥 知久 合同会社トモラボ	
P13-22	「コロナ禍により家族介護者の負担は増えたのか？」新型コロナウイルス感染症流行に伴う家族の介護負担の調査結果	333
	尾崎 光代 東大和ホームケアクリニック	

一般演題ポスター Q&A Late-breaker session ①

11月27日(土) 17:50～18:30

座長 中村 幸伸 つばさクリニック

座長 浅田 美子 株式会社大和調剤センター 中央薬局

LB1	臨床検査技師の活用	334
	井越 尚子 女子栄養大学	
LB2	在宅訪問患者に新型コロナワクチン接種をおこなって	334
	山田 智 中野共立病院 リハビリテーション科	
LB3	統合失調症により社会性が欠如し、長年医療介入が出来ていなかった患者の自立に向けた支援：チーム医療の有用性の検証	334
	和田 晃 医療法人社団さくらライフ さくらライフ錦糸クリニック	
LB4	救急受診を契機に在宅医療への導入に至った2症例の検討	334
	日下 伸明 亀田総合病院 在宅診療科	
LB5	家族の協力のもと「振動刺激機器」を用いて関節可動域（筋緊張抑制）などが改善した1症例	335
	小亀 公司 医療法人社団曙光会 コンフォガーデンクリニック	
LB6	家族の代理意思決定支援よりグリーフケアにつながった訪問看護介入症例～意思決定プロセスに基づいた分析～	335
	島村 由美子 株式会社 学研ココファン・ナーシング	
LB7	妄想障害を持つその人の全体像を理解した上で、「その人らしさ」を支援する訪問看護介入症例	335
	鈴木 香里 株式会社 学研ココファン・ナーシング	
LB8	ショートステイを複数事業所利用しながら腹膜透析療養生活を継続している療養者の一例～ APD(自動腹膜透析)機器の特徴を活かした治療設定～	335
	大脇 香香 岡山済生会外来センター病院 腎臓病センター	
LB9	在宅療養支援診療所および特別養護老人ホームの配置医師として診療した患者の転帰と看取りに関する報告と考察	336
	矢崎 弘志 ホサナファミリークリニック	
LB10	病院看護師による退院支援実践の自己評価と必要なサポート	336
	進藤 真由美 信州大学 医学部 保健学科 看護学専攻	